



大海情陸第拾壹號

露軍ノ近況

一 一般ノ情況

(九月十日大本營
陸軍幕僚調査)

八月二十九日ヨリ繼續セル遼陽附近ノ戰鬪ハ遂ニ露
 軍ノ敗退ヲ以テ其局ヲ結ビ九月三日黒鳩公ハ其軍
 ヲ烟臺ヨリ炭坑ニ至ル 鉄道線附近ニ集合シ五日ニ
 至ル迄我軍ノ追撃ヲ受ケシカ 烟臺北方沙河堡
 附近ニ一部ヲ残シ陣地ヲ占領セシメ其主力ハ奉天
 附近ニ退却シ目下渾河以北ニ退却セシカ如シ九月七日
 發久松少佐ノ報ニ依リハ黒鳩公ハ敗戦後烟臺ニ於
 テアレキシニフト重要ナル會議ヲ為シ其結果今テ
 後鉄嶺ヲ堅固ニ占領スルニト決シタリト云フ

下盛ニ事ヲ施シ
アリトノ情ヲ報アリ

露軍ハ其遼陽敗戦ヲ以テ日本軍ノ兵力優執力

ナルニ帰シ且ツ九月一日首山堡附近ノ陣地ヲ攻略セラレ

我第一軍ヨリ退路ヲ脅威セラレタルトヲ以テ退却ニ決

セシ直接ノ理由ト為セルカ如シ黒鳩公ノ露帝ニ致セリト稱スル報

遼陽附近ノ戦鬪ニ参班ハセシ露軍ノ兵力及部隊ハ

別紙概見表ニ輯メ其概要ヲ知ルニ供ス

此戦鬪ニ於ケル敵ノ死傷數ハ詳ナラサルモ之ヲ推測スル

三二萬餘ニ達スヘシ九月三兩日ニ奉天ヲ通過シ北ニ上セシ死傷者約六

十一日九月一日ノ輸送數ハ詳ナラサルモ之ヲ五六千ト假定レ尚ホ戦場ニ遺棄シ

在ル約三千ノ屍体ヲ加フレハ概シテ二萬ニ達ス敵方ハ主トテサハロフ中掎ノ報告

ノ報道ニ依ルニ八月三日ニハ死傷約三千九月二日ニハ五千三日ニハ三千アリト

六七八月三日ノ介ハ欠クモ約三千ト假定セハ一萬四千ニ達ス之ニ九月三日以後ノ

介ヲ二三千ト假定スルモ尚一萬六七千ニ達ス然ルニ敵方ノ公示ハ常ニ其數ヲ

少クシテ蓋シテ二萬ニ達スルト見ルモ差支ナカルヘシ露都風説ニ依レ

八月三十日ヨリ九月二日マデノ死傷二萬千三百人ナリト

而シテ西伯利亞一軍團長スタルケルベルグ中將及砲
 兵第九旅團長ムロゾフスキー少將ハ八月三十日負傷シ
 又豫備歩兵第五十四師團長ホルレフ少將ハ烟臺炭
 坑附近ニ於テ負傷セリト云フ以上ノ死傷數ニ八月二十六
 日ヨリ紅砂嶺寒坡嶺ヨリ大甸子附近ニ百餘陣地ニ於
 ケル戦闘及二十七八日鞍山砦沙河間ノ戦闘ニ於ケル死
 傷者ヲ約五千ト見做レハ月二十九日負傷者四千奉天ヲ通過
シ北セリト云テヲ以テ見レハ其死傷總
計約五千ト見做スヲ得之ヲ加算スレハ約二萬五千ニ達スヘシ即チ我
 軍ノ損害ト大差ナシ然レトモ渠レ連戰連敗ノ餘其
 志氣ノ沮喪セルコト蓋レ其事實數ノ減耗ノ比ニアラ
 ザルヘシ其奉天撤退ノ情況アルハ之ヲ証スルニ足ル奉天ヲ棄
テ退却センルノ報ハ九月七日久松少佐報告
及同日宇都宮中佐報告在リ
 八月十八日以來本溪湖方面ニ向ヒ奉天ヲ出發セシ歩

兵第五十四師團ノ六大隊半及砲兵一中隊詳細前向調査参照
 并ニ騎兵若干ハ師團長ホルレテ少將之ヲ率テ烟臺
 炭坑附近ニ出テ遼陽西路軍ノ側背ヲ掩護シ次テ其
 主カト共ニ北方ニ退却セシカ如シ而シテ八月二十九日奉
 天ヲ発シ本溪湖ニ向ヒシ豫備歩兵第一師團ノ三大
 隊ハ同地ニ到着セシヤ不占明ナラス故ニ本溪湖奉天街道
 上ニハ其第一線ニ在ル歩兵三大隊、騎兵若干、砲兵
 一中隊アルノシ是レ我後備混成旅團ノ一部ニ對セン
 兵力ナリ九月七日原口司令官報告ハ兵力ハ略之旨
 八月二十八日新民廳ニ向ヒ奉天ヲ出發セシ第七十一師
 團ノ歩兵三大隊及砲兵一中隊ハ同三十日遼河左岸
 ニテ停止シ在リシカ六日更ニ南方ニ進シタリ九月七日
對報遼河ニ沿フテ西路軍ノ右側警戒ニ任シ在

ルモノナラン

城廠東北方ニ在リシ露路軍歩兵千名、砲四門ハ九月三日夕城廠ニ在ル我軍ニ向ヒ來襲セシモ翌朝ニ至リ撃退セラレタリ此歩砲兵ハマドリトフ、迄ナウル部隊

ノ一部ナラン

リ子ウイツチ大將^{日大將}ハ三萬ノ兵ヲ以テ奉天ヨリニ

日行程ノ地ニ前進シ來リトノ風説^{九月一日}報告^{都官}アリ

ルモ其後得タル情報^{九月八日}大井^{佐報}ニ依レハリ子ウイツチ

ハ第一第二師團ノ殘部^{五聯隊}ト共ニ今尚ホ烏蘇

利地方ニ在リト云フ而シテ第一師團ノ第二旅團ハ既

ニ遼陽附近ニ在リトノ説アリ

歐露路ヨリ到着シツ、在ル第一軍團ノ先頭歩兵ニ

聯隊ハ八月三十日ヨリ九月一日^{遼陽附近}ニ到着シ

三

戦闘ニ参與セシカ如シ
 咸鏡道方面ニ在リテハ八月二十九日兩路兵約千五百三
 團ヲ為リ城津ヲ攻メ歿シ南進シ又洪原ニ在リシ騎兵
 約二百八十回二十九日及八月二日ニ南進シ咸興ニ入りシカ
 九月四日午後ニ至リ俄然咸興ニ在ル諸兵ト共ニ退却
 ヲ始メ五日午後ニハ全ク咸興ヲ撤去セリ蓋シ奈陽敗
 戦ノ映郷音ナラン北青以北ハ電信線連絡シ在ルモ其以南ハ單ニ電
 柱ノ植立セリト云フ
 以上ノ諸情況ニ基キ前旬調査ノモノヲ基礎トシ露
 軍ノ配置圖ヲ調製セリ但シ其ハ兵力計算ハ露
 軍カ最近ノ戦闘ニ於テ約二萬五千ノ死傷ヲ受ケ
 タルモノトシ且ツ之ニ病者ヲ加ヘ二萬六七千ノ減耗ヲ
 生シタルモノト見做シ計算ノ上從來既ニ戦闘ヲ交
 ヘシ歩兵一大隊ヲ五百人トシ新来ノ軍隊即チ歩兵第

三、第五十四、第七十一及第七十二師團ノ先頭ニ聯隊ヲ八百人ト算セリ
其他歩兵大隊ハ千人、騎兵ハ百五十人ト算ス

二、新ニ到着スル軍隊

西伯利第五軍團ノ到着終ル頃白砲第五聯隊(四中隊)ハ奉天附近ニ到着セリ即チ八月二十六日ヨリ同二十九日頃迄ニ或ハ奉天ニ下車シ或ハ同地ヲ通過シテ南下セリ

第一軍團ノ到着ニ関シ前旬謂ニ疑ヲ存セシカ愈其先頭タル歩兵第八十五聯隊ハ八月三十日遼陽ニ到着シ始メ同第八十六聯隊モ亦九月一日中ニ奉天以南ニ到着セリ又此軍團ニ属スル砲兵第七旅團ノ第一、第二中隊ハ九月三、四兩日ヲ以テ奉天ニ到着シ次テ到着スル第三中隊ト共ニ再ヒ南下シ四日烟臺

0116

ニ下車セリ歩兵第八十七聯隊モ亦九月五六日ヲ以テ
奉天ニ下車セリ故ニ此軍團ハ陸續奉天附近ニ
輸送シツク在ルヲ知ルヘシ

西伯利第六軍團ハ八月廿日頃ヨリ同二十六日頃迄
ニ出ヌ我セシユト明カト為レリコソ薩克第四師團

ハ同三十日ヨリ九月八日迄ニ出ヌ我シ十月十五日到着
隊定ナリト以上九月二日宇都宮中佐報故ニ西伯利第六軍

團ハ九月十七日頃ヨリ同月末迄ニコソ薩克第
四師團ハ十月上旬ニ到着スルナラン

東部西伯利電信大隊ハ八月二十七日ヨリ同二十九
日迄ニキリエヲヨリ出ヌ我シ隊備歩兵第六十一師

團九月八日長尾少佐報ニハ第六十八師團ハ第六軍團ニ引繼キ輸送セラ
ルト以上九月七日又榴彈砲一中隊ヲ送り哈爾濱ニテ
大井中佐報

0117

使用スル竹若トノ報アリ四月八日長尾少佐報ニシテ
東部西伯利山砲六中隊ハ七月二十五日頃カザンヲ

出発セシヲ以テハ九月ノ交、戦地到着スヘキ筈
ナルモ未夕情報ニ接セス

三、新ニ動員シ若クハ編成ノ部隊

東部西伯利地雷中隊ハ九月上旬編成セラレタルカ

如シ九月六日長尾少佐報

新ニ動員シ若クハ動員セントスル軍團ニ関シテハ諸

説紛々未夕其何レカ真ナルヤヲ知ル能ハス五日巴

里飛丸風説ニ兩院國皇上帝ハ黑鳩公ノ大至急援軍

増派ノ請求ニ依リ三軍團約十萬人ノ動員ニ決セリ

ト云ヒ九月五日宇都宮中佐報 將 来第五軍團ノ派遣ハ確實ナ

リト云ヒ八月三十一日宇都宮中佐報 第十八軍團ノ動員ハ稍ハ事

實、如レト云ヒ 宇都宮報又九日大井報ニハ 極東第二軍
 第八十三、第十八軍團及新ニ編成セラルヘキ西伯利
 第七軍團ヲ以テ編成セラルラント云ヒ 五日宇都宮報 第八
 軍團ハ秘密ニ動員セラレタリト云ヒ 六日長尾報 皇帝ハ未
 週軍隊檢閲ノ為メオデツサ (第八軍團ナラン)ニ向
 ヒ出タススト云ヒ 五日山手報 八月二十日頃ヨリ實行中ナル
 西路國ノ豫備兵ヲ召集 前旬調 第八、第二十一軍
 團及莫斯科カガン軍管區ニ於ケル豫備軍ノ
 動員ナルカ如シト云ヒ 五日松報 第八軍團ノ外目下極
 東ニ派遣ノ計畫ナシト云フ 六日長尾報 等其真不
 未タ容易ニ判知スル能ハス然レトモ今稍真
 ニ近キモノヲ順序ニ列記スレハ左ノ
 如レ

五

0119

第八軍團
 第十八軍團
 西伯利第七軍團 (新編成)
 第二十一軍團
 第十三軍團
 第三軍團
 第四軍團
 第五軍團
 第十五軍團
 第六軍團
 第七軍團
 第九軍團

此内第八、第十八軍團ノ
 動員ハ事實ニ近ク西伯利
 第七軍團ノ編成モ亦稍信
 スヘキ情報アリ其他ハ目
 下確實ナル情報ニ接セ
 ス

四、西伯利鉄道

本野公使在佛ノ派遣セシ密偵九月初歸リ報スル
 所ニ依レハ西伯利鉄道ノ改良工事ハ盛ニ實施中
 ニシテ舊輕量レールハ漸次新重レールニ取替ラ
 レ敷設工事ノ材料ハ全線ニ沿ヒ堆積セラレ在リ
 ト又チエリヤビンスク、イルクツク間西伯利線ハ開戦以來
 軍用列車ハ毎日最初ノ間九回後十回運行セ
 リ密偵ノ目撃スル所ニ依レハ目下毎日往々各
 十三回ノ列車ヲ運行シ數日ノ後ニ尚ホ増加スルニ
 至ルナラン而シテ此列車ハ各平均三十五基至ノ車
 輛ヲ有スト又貝加爾湖滿洲間後貝加爾湖ハ毎日往
 返各九乃至十列車ヲ運行シ一列車ハ三十乃至
 三十五基至ノ車輛ヲ有スルヲ見タリト又云フ臨時

0121

待避線ノ新設セラレタルモノイルクツク以西ニ於テ
 五十八貝加爾湖迂回線ニ於テハ既設停車場
 數ノ半ニ達スト此迂回線ノ工事ハ盛ニ進行中ニ
 シテ十月中旬ニハ軍用列車ノ運轉ヲ見ルヘシト
 宇都宮中佐ノ報告九月七日ニ依シハ貝加爾湖迂回
 線ノ開通ハ九月十三日ノ豫定ニシテ毎日十四列車ヲ
 出スト露都風説ニ依シハ去ル四日開通シ毎日十
 六列車ヲ出スト云フ此終リノ風説ハ未夕信ヲ置
 キ難シ
 去ル三日發長尾少佐ノ報告ニアルハマラ通過ノ
 左ノ軍隊ヲ通覽セハ當時ノ軍隊輸送ノ效程
 ヲ知ルニ足ル

八月六日

第八十七聯隊
第八十八聯隊

糧食五列車、彈藥二列車

同日

第四百四十五聯隊
第四百四十六聯隊

砲兵第七旅團砲四十門 糧食三列車、
彈藥二列車

同日

第四百四十七聯隊
第四百四十八聯隊

砲兵第四十三旅團 糧食四列車、彈藥
三列車、工兵第一大隊

同日

第三百二十七聯隊
第三百二十八聯隊

砲兵第六旅團砲四十門 糧食三列車

同日

第三百二十九聯隊
第三百三十聯隊

砲兵第十旅團砲四十門 糧食五列車、彈藥三列車

右ノ輸送兵カヲ見レハ十六日間ヲ以テ一軍團 砲兵及

共ノ兵ヲ輸送セシヲ知ルヘシ一軍團ノ所需列車數

ヲ百八列車 前掲部隊ニ騎兵師團無キ代リニ砲兵三旅團ヲ軍團
外餘分ニ輸送セルヲ以テ差引キ十六日間ニ完全ナル一軍團

ヲ輸送スルモ
ト見做ストスレハ一日ニ六乃至七列車ヲ軍隊輸送
ニ使用スルノ計算ト為ル
在墾公使ノ密偵ノ得タル六月末ヨリ八月二十日迄
莫斯科、チエリビヤンスク間軍隊輸送運_レ行表ナル
モノヲ見レハ一日直_レ通五列車ノ軍隊輸送列車ヲ
發送セルヲ知ル然ルニ前_レ述ノ如ク一日六或ハ七列車
ニ相當スル軍隊輸送ヲ行_レヲ見レハ鐵道ノ輸送
效程ヲ増加セシカ持_レタ其輸送軍隊ノ内容ヲ縮少
シ一時ノ急ニ應_レシ在ルカヲ知ルヘシ

明治三十七年九月十七日

大本營海軍幕僚

ハ

0125

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

明治三十七年九月六日大本營陸軍參謀部調製

自八月二十九日(寮陽附行)至九月四日(寮陽附行)戰鬪ニ加参セシ敵部隊概見表

軍 團 (指揮官) 師 團 (指揮官) 摘要

西伯利第軍團長中將スズキ(寮) 東部西伯利軍團長中將ゲルンバロス 此三軍團ノ區分ハ最近ノ大井中佐ノ報告ニ依リ從來ノ第一第二第三軍團及獨立一師團ヲ變更配属スルモノナリ

同 第軍團長中將イワノフ 同 步兵第五師團長中將アレキセーフ 同 西伯利第師團長中將モリスノ大部

東方部隊 (少將カシリンスキ) 東部西伯利軍團長中將カシリンスキ 同 步兵第三師團長中將カシリンスキ

西伯利第軍團長中將ザルバエフ 同 步兵第六師團長中將ロマノフ 同 西伯利第師團長中將レウスタシ

同 第五軍團長中將スズキ(寮) 同 步兵第七師團長中將エツクノ一部 同 步兵第九師團長中將ボロソシ

第十軍團長中將スズキ(寮) 同 步兵第十師團長中將マウ 同 步兵第十一師團長中將マウ

第十七軍團長中將スズキ(寮) 同 步兵第十二師團長中將マウ 同 步兵第十三師團長中將マウ

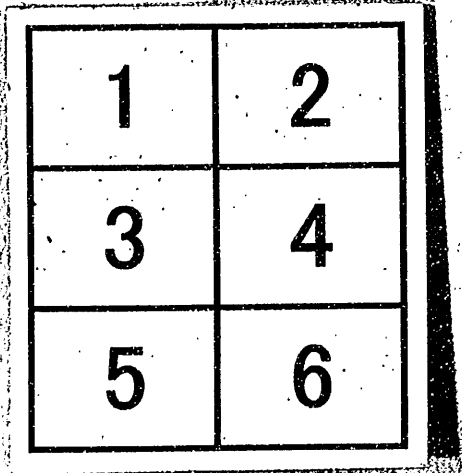
第一軍團ノ内 同 步兵第十四師團長中將マウ 同 步兵第十五師團長中將マウ

計 步兵約百八十四大隊 砲兵約七十八中隊 (從來我軍獲セシ砲兵約百三十八中隊 十五班米加農十六門等

右ノ外ニ 騎兵約百三十八中隊 十五班米加農十六門等

備考 一 本表ハ在寮陽部隊ニ本溪湖ヨリ赴接セシト推測スル步兵第五十四師團ノ大隊死傷ニ中隊并ニ本國ヨリ九月百三十一到着セシ第軍團ノ步兵三隊ヲ加ヘ調製ス 二 在寮陽ノ部隊步兵大隊騎兵七中隊砲兵五中隊ハ九月二日総テ南下セシモ戰鬪ニ参加セザルヘシト推測スル故ニ之ヲ省ケリ 三 在寮陽ノ十五班米加農二十八門ノ内十二門ハ八月二十四日夕ニ鞍山ニ輸送セシ再ニ中隊ヲラレシムルヲ以テ未ダ布列スルニ至ラザルヘシト推測スル其他ノ班米加農四門十五班米加農若千門ハ從來ヨリ在寮陽ニ備附セラシモ其數詳ナラス 四 新米ノ西伯利第軍團ニ属スルモノ步兵第三師團及第一軍團ニ属スルモノ(步兵大隊約千名)外ハ既數回ノ戰鬪ヲ經テ減員多クテ其步兵大隊ノ戰鬪員ヲ概テ六百五十名ト算シ之ヲ實質員ニ換算セハ左ノ如シ 步兵十三萬三千二百五十人 (約我十三師團半ニ相當)

分割撮影ターゲット

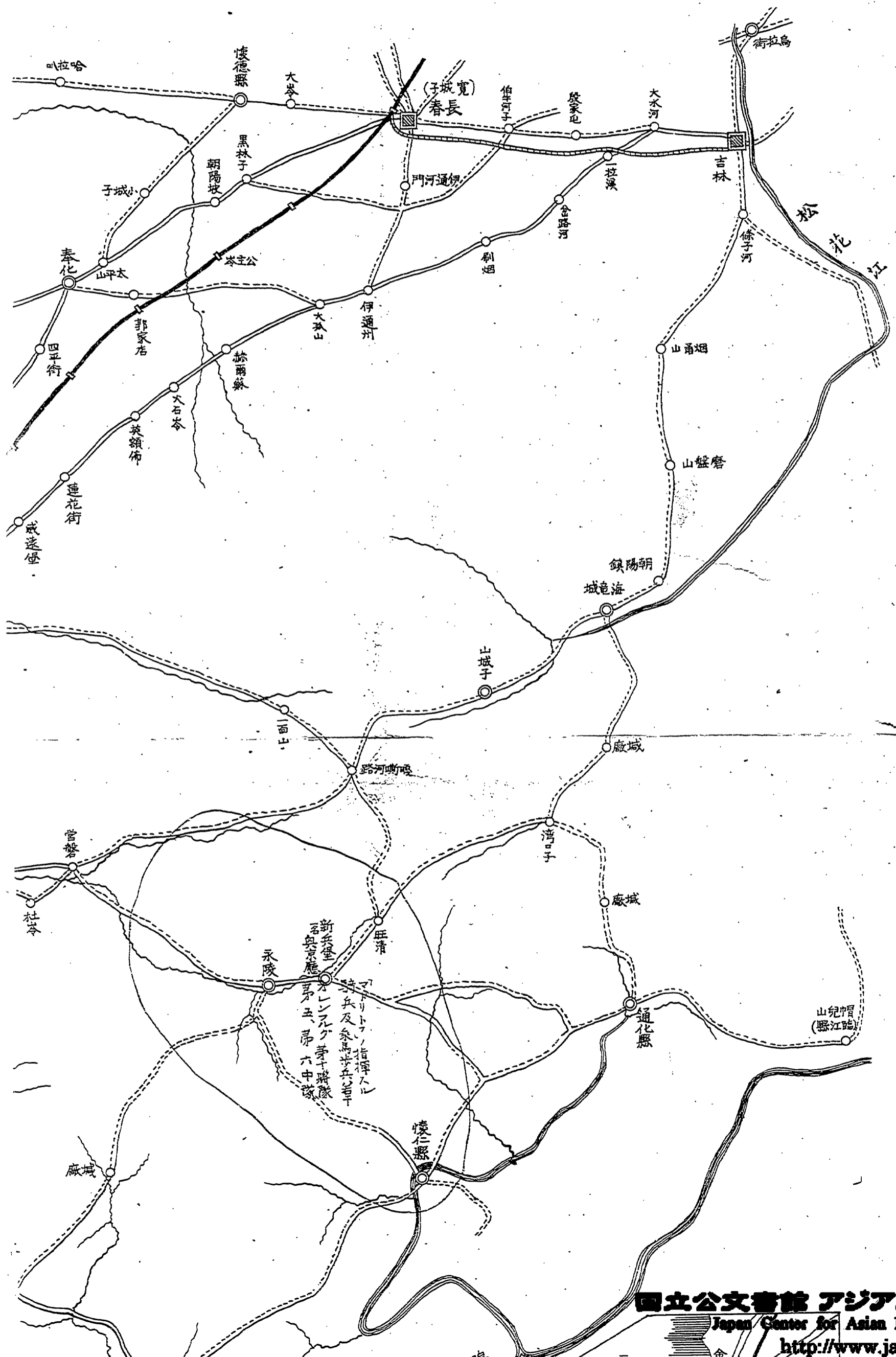
分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

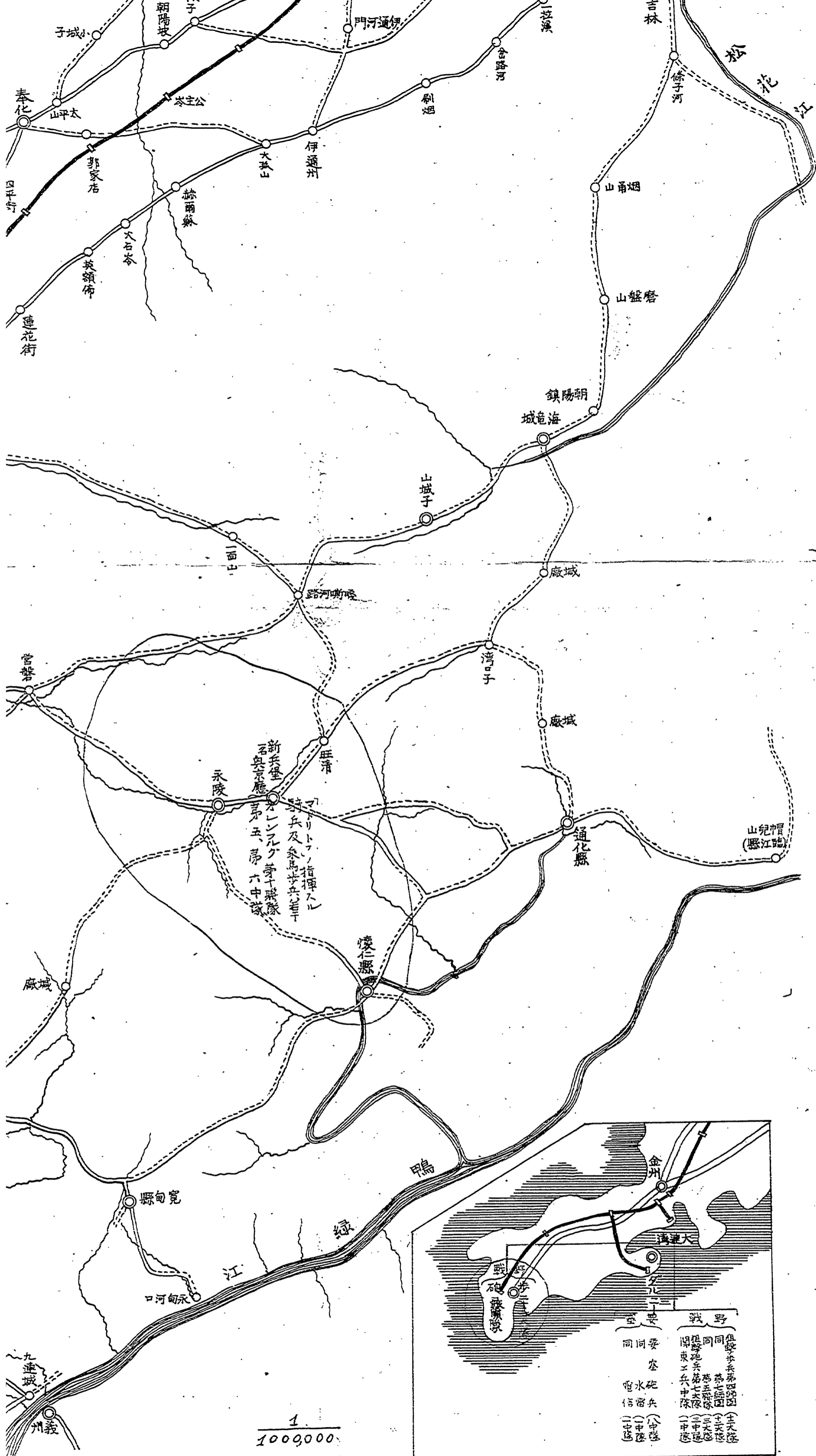
0127
0128
0129
0130
0131
0132

置配之軍露東極

(明治三十三年九月十日大本營陸軍參謀)

秘

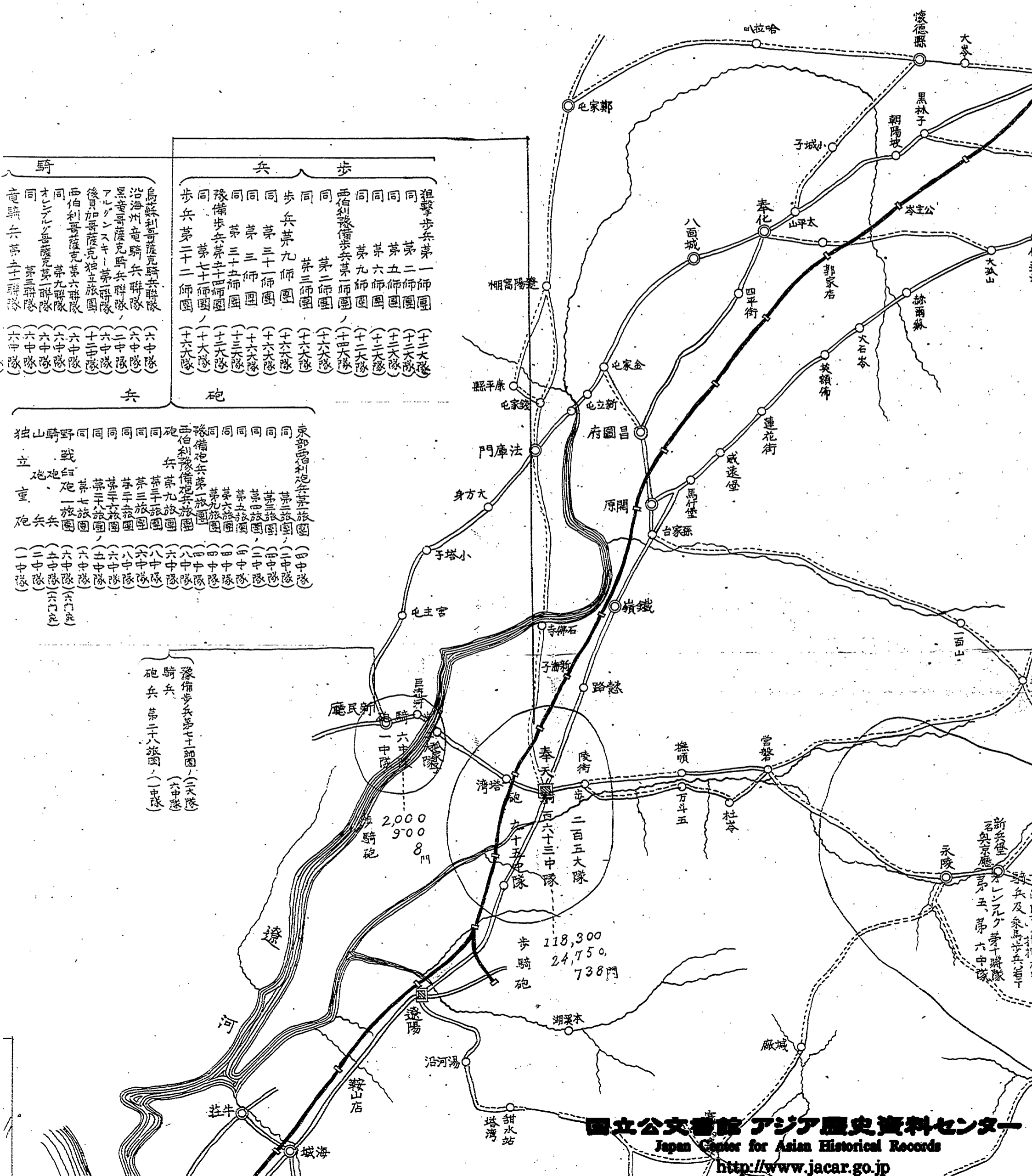




軍	隊	戰	野
同	同	同	同
電	水	砲	砲
信	信	兵	兵
(中隊)	(中隊)	(中隊)	(中隊)

之配置略圖

(調部謀參軍陸營本大日十)



騎		兵		步	
第一師團	(十二大隊)	第一師團	(十六大隊)	第一師團	(十二大隊)
第二師團	(十二大隊)	第二師團	(十六大隊)	第二師團	(十二大隊)
第三師團	(十二大隊)	第三師團	(十六大隊)	第三師團	(十二大隊)
第四師團	(十二大隊)	第四師團	(十六大隊)	第四師團	(十二大隊)
第五師團	(十二大隊)	第五師團	(十六大隊)	第五師團	(十二大隊)
第六師團	(十二大隊)	第六師團	(十六大隊)	第六師團	(十二大隊)
第七師團	(十二大隊)	第七師團	(十六大隊)	第七師團	(十二大隊)
第八師團	(十二大隊)	第八師團	(十六大隊)	第八師團	(十二大隊)
第九師團	(十二大隊)	第九師團	(十六大隊)	第九師團	(十二大隊)
第十師團	(十二大隊)	第十師團	(十六大隊)	第十師團	(十二大隊)
第十一師團	(十二大隊)	第十一師團	(十六大隊)	第十一師團	(十二大隊)
第十二師團	(十二大隊)	第十二師團	(十六大隊)	第十二師團	(十二大隊)

砲		兵	
第一師團	(四中隊)	第一師團	(六中隊)
第二師團	(四中隊)	第二師團	(六中隊)
第三師團	(四中隊)	第三師團	(六中隊)
第四師團	(四中隊)	第四師團	(六中隊)
第五師團	(四中隊)	第五師團	(六中隊)
第六師團	(四中隊)	第六師團	(六中隊)
第七師團	(四中隊)	第七師團	(六中隊)
第八師團	(四中隊)	第八師團	(六中隊)
第九師團	(四中隊)	第九師團	(六中隊)
第十師團	(四中隊)	第十師團	(六中隊)
第十一師團	(四中隊)	第十一師團	(六中隊)
第十二師團	(四中隊)	第十二師團	(六中隊)

發備步兵第七師團 (二大隊)
 砲兵 第二十八旅團 (一中隊)
 騎兵 第六中隊

騎

鳥蘇利騎兵第一師團 (六中隊)
 海州騎兵第一師團 (六中隊)
 海州騎兵第二師團 (六中隊)
 海州騎兵第三師團 (六中隊)
 海州騎兵第四師團 (六中隊)
 海州騎兵第五師團 (六中隊)
 海州騎兵第六師團 (六中隊)
 海州騎兵第七師團 (六中隊)
 海州騎兵第八師團 (六中隊)
 海州騎兵第九師團 (六中隊)
 海州騎兵第十師團 (六中隊)
 海州騎兵第十一師團 (六中隊)
 海州騎兵第十二師團 (六中隊)

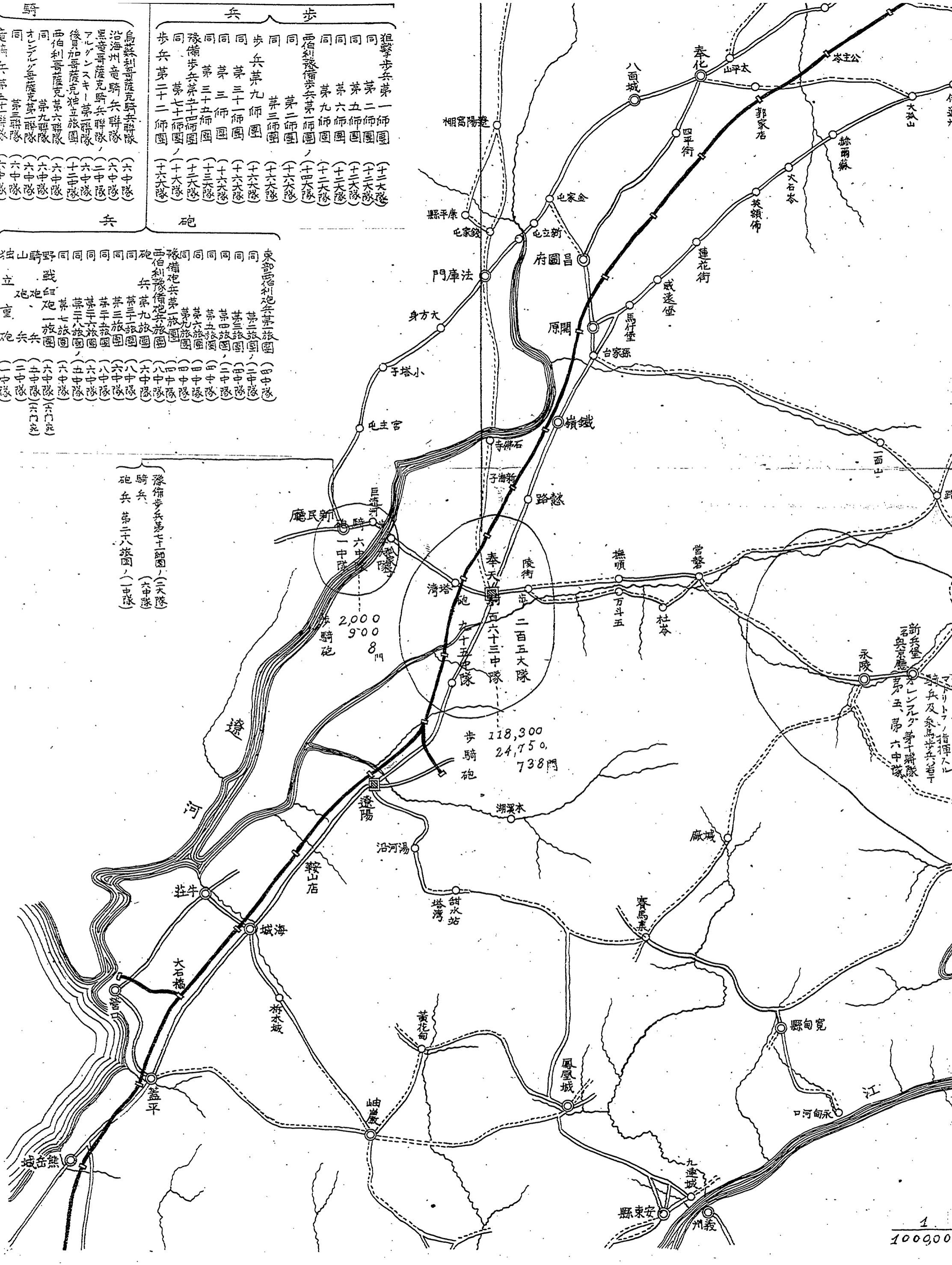
歩

獵擊步兵第一師團 (十二大隊)
 第一師團 (十二大隊)
 第二師團 (十二大隊)
 第三師團 (十二大隊)
 第四師團 (十二大隊)
 第五師團 (十二大隊)
 第六師團 (十二大隊)
 第七師團 (十二大隊)
 第八師團 (十二大隊)
 第九師團 (十二大隊)
 第十師團 (十二大隊)
 第十一師團 (十二大隊)
 第十二師團 (十二大隊)
 第十三師團 (十二大隊)
 第十四師團 (十二大隊)
 第十五師團 (十二大隊)
 第十六師團 (十二大隊)
 第十七師團 (十二大隊)
 第十八師團 (十二大隊)
 第十九師團 (十二大隊)
 第二十師團 (十二大隊)
 第二十一師團 (十二大隊)
 第二十二師團 (十二大隊)

砲

東部信利砲兵第一旅團 (四中隊)
 第二旅團 (四中隊)
 第三旅團 (四中隊)
 第四旅團 (四中隊)
 第五旅團 (四中隊)
 第六旅團 (四中隊)
 第七旅團 (四中隊)
 第八旅團 (四中隊)
 第九旅團 (四中隊)
 第十旅團 (四中隊)
 第十一旅團 (四中隊)
 第十二旅團 (四中隊)
 第十三旅團 (四中隊)
 第十四旅團 (四中隊)
 第十五旅團 (四中隊)
 第十六旅團 (四中隊)
 第十七旅團 (四中隊)
 第十八旅團 (四中隊)
 第十九旅團 (四中隊)
 第二十旅團 (四中隊)
 第二十一旅團 (四中隊)
 第二十二旅團 (四中隊)

豫備步兵第七師團 (二大隊)
 騎兵 (六中隊)
 砲兵 第二六旅團 (一中隊)



1
100000

考 備

一、西伯利豫備歩兵第三師團ノ第十一聯隊ノ二大隊ハ所在不明ナルヲ以テ本圖ニ記入セズ

二、同 第一師團ノ二大隊ハ八月二十五日奉天ヲ經北方ニ輸送セラレ右全斷

三、莫斯科撰技歩兵第四聯隊ハ遼陽附近ニ在リシトノ報ニ接セルニ其後ノ行動不明ナルヲ以テ之ヲ省ク

四、黑竜哥薩克騎兵聯隊ノ七中隊ハ西伯利哥薩克第一聯隊ノ一中隊同第三聯隊ノ二中隊オレンブルグ某九聯隊ノ一中隊共ニ同

五、東部西伯利砲兵第二旅團ノ各二中隊ハ所在不明之ヲ省ク

六、工兵隊ハ其所在不明ノモノヲ以テ之ヲ省ク

七、鴨綠江得利寺榆樹林子紅砂嶺及沙河附近ノ戰鬥ニ於テ砲合計六十門即チ約七中隊半ヲ鹵獲シタルヲ以テ目下其數ヲ減シ在ルモノトス

八、歩兵一大隊ハ既ニ戰鬥ヲ交ヘシ部隊ニ在テハ五百人、第三第五十四第七十一師團及、第二十一師團ノ二聯隊ニ在リテハ八百人、其他ハ千人ト計スル騎兵一中隊ハ五百五十人トシテ計スル其兵數ヲ示セリ

九、本圖外ニ政露ヨリ増加スヘキ左ノ團隊アリ

第一軍團ノ半部 (歩十六大隊 砲六中隊)

西伯利第六軍團 (歩二十四大隊 砲十二中隊)

西伯利第七軍團 (騎二十四中隊 砲二中隊)

計 歩兵四十大隊 騎兵二十四中隊 砲兵二十中隊

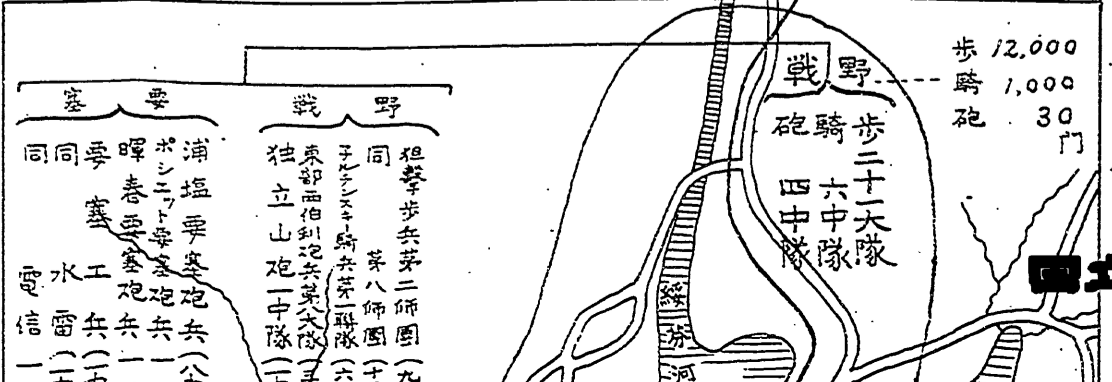
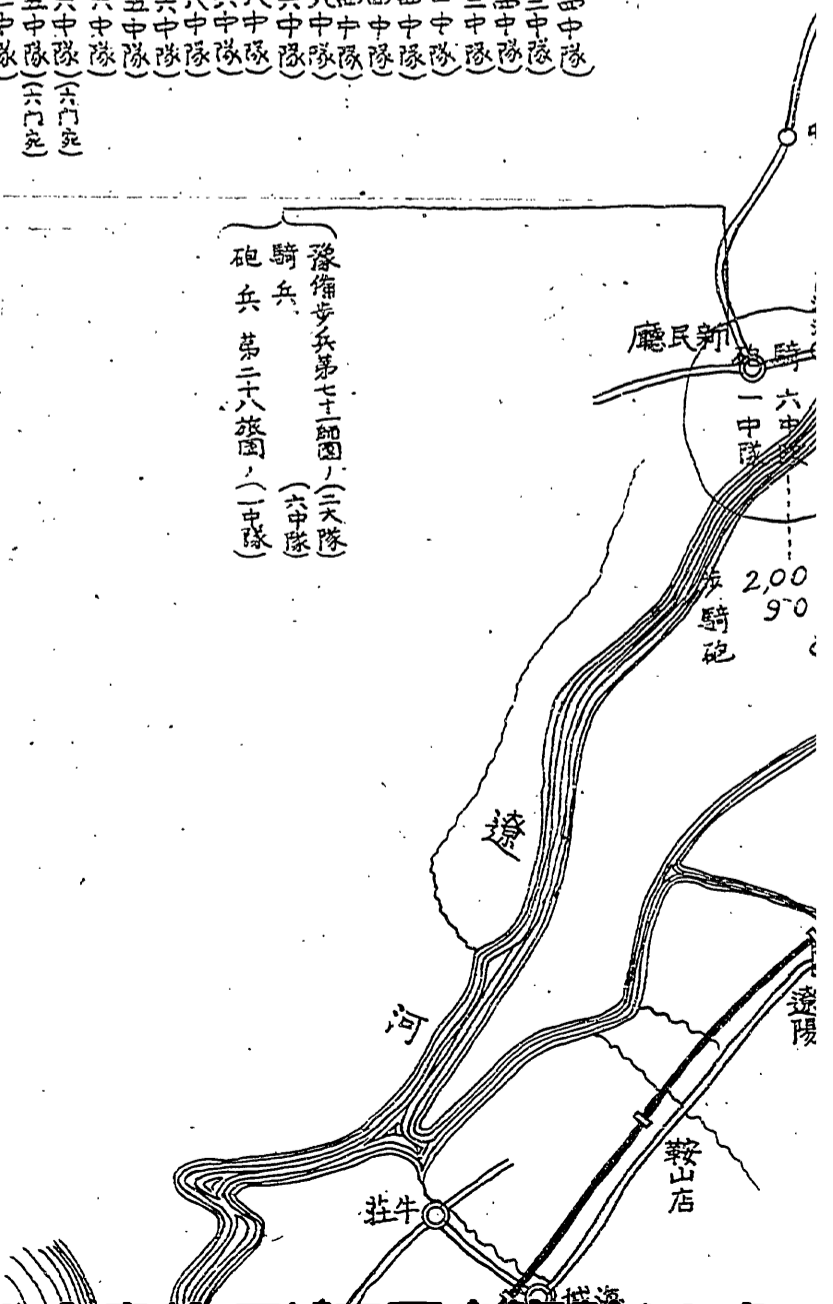
十、西伯利第五第六軍團ノ歩兵聯隊ハ、大隊編成ナルカ如シ依テ始ク三大隊編成シテ本圖ヲ調製ス

十一、東部西伯利砲兵第八師團ノ第一旅團遼陽附近ニ在リテ、設アリ(本圖ニ烏蘇里方面ニ記入)又鐵嶺ハ約三千ノ守備兵アリト云フ

騎	
烏蘇里哥薩克騎兵聯隊	(六中隊)
沿海州哥薩克騎兵聯隊	(六中隊)
黑竜哥薩克騎兵聯隊	(六中隊)
後貝加哥薩克騎兵聯隊	(六中隊)
西伯利哥薩克第一聯隊	(六中隊)
同 第九聯隊	(六中隊)
同 第十聯隊	(六中隊)
同 第十一聯隊	(六中隊)
同 第十二聯隊	(六中隊)
同 第十三聯隊	(六中隊)
同 第十四聯隊	(六中隊)
同 第十五聯隊	(六中隊)
同 第十六聯隊	(六中隊)
同 第十七聯隊	(六中隊)
同 第十八聯隊	(六中隊)
同 第十九聯隊	(六中隊)
同 第二十聯隊	(六中隊)
同 第二十一聯隊	(六中隊)
同 第二十二聯隊	(六中隊)
同 第二十三聯隊	(六中隊)
同 第二十四聯隊	(六中隊)
同 第二十五聯隊	(六中隊)
同 第二十六聯隊	(六中隊)
同 第二十七聯隊	(六中隊)
同 第二十八聯隊	(六中隊)
同 第二十九聯隊	(六中隊)
同 第三十聯隊	(六中隊)
同 第三十一聯隊	(六中隊)
同 第三十二聯隊	(六中隊)
同 第三十三聯隊	(六中隊)
同 第三十四聯隊	(六中隊)
同 第三十五聯隊	(六中隊)
同 第三十六聯隊	(六中隊)
同 第三十七聯隊	(六中隊)
同 第三十八聯隊	(六中隊)
同 第三十九聯隊	(六中隊)
同 第四十聯隊	(六中隊)
同 第四十一聯隊	(六中隊)
同 第四十二聯隊	(六中隊)
同 第四十三聯隊	(六中隊)
同 第四十四聯隊	(六中隊)
同 第四十五聯隊	(六中隊)
同 第四十六聯隊	(六中隊)
同 第四十七聯隊	(六中隊)
同 第四十八聯隊	(六中隊)
同 第四十九聯隊	(六中隊)
同 第五十聯隊	(六中隊)

歩	
西伯利豫備歩兵第一師團	(十二大隊)
同 第九師團	(十二大隊)
同 第六師團	(十二大隊)
同 第五師團	(十二大隊)
同 第二師團	(十二大隊)
同 第三師團	(十二大隊)
同 第九師團	(十二大隊)
同 第三十一師團	(十六大隊)
同 第三師團	(十六大隊)
同 第三十五師團	(十六大隊)
同 第三十九師團	(十六大隊)
同 第七十一師團	(十六大隊)
同 第七十二師團	(十六大隊)
同 第七十三師團	(十六大隊)
同 第七十四師團	(十六大隊)
同 第七十五師團	(十六大隊)
同 第七十六師團	(十六大隊)
同 第七十七師團	(十六大隊)
同 第七十八師團	(十六大隊)
同 第七十九師團	(十六大隊)
同 第八十師團	(十六大隊)
同 第八十一師團	(十六大隊)
同 第八十二師團	(十六大隊)
同 第八十三師團	(十六大隊)
同 第八十四師團	(十六大隊)
同 第八十五師團	(十六大隊)
同 第八十六師團	(十六大隊)
同 第八十七師團	(十六大隊)
同 第八十八師團	(十六大隊)
同 第八十九師團	(十六大隊)
同 第九十師團	(十六大隊)
同 第九十一師團	(十六大隊)
同 第九十二師團	(十六大隊)
同 第九十三師團	(十六大隊)
同 第九十四師團	(十六大隊)
同 第九十五師團	(十六大隊)
同 第九十六師團	(十六大隊)
同 第九十七師團	(十六大隊)
同 第九十八師團	(十六大隊)
同 第九十九師團	(十六大隊)
同 第一百師團	(十六大隊)

砲	
東部西伯利砲兵第一旅團	(四中隊)
同 第二旅團	(四中隊)
同 第三旅團	(四中隊)
同 第四旅團	(四中隊)
同 第五旅團	(四中隊)
同 第六旅團	(四中隊)
同 第七旅團	(四中隊)
同 第八旅團	(四中隊)
同 第九旅團	(四中隊)
同 第十旅團	(四中隊)
同 第十一旅團	(四中隊)
同 第十二旅團	(四中隊)
同 第十三旅團	(四中隊)
同 第十四旅團	(四中隊)
同 第十五旅團	(四中隊)
同 第十六旅團	(四中隊)
同 第十七旅團	(四中隊)
同 第十八旅團	(四中隊)
同 第十九旅團	(四中隊)
同 第二十旅團	(四中隊)
同 第二十一旅團	(四中隊)
同 第二十二旅團	(四中隊)
同 第二十三旅團	(四中隊)
同 第二十四旅團	(四中隊)
同 第二十五旅團	(四中隊)
同 第二十六旅團	(四中隊)
同 第二十七旅團	(四中隊)
同 第二十八旅團	(四中隊)
同 第二十九旅團	(四中隊)
同 第三十旅團	(四中隊)
同 第三十一旅團	(四中隊)
同 第三十二旅團	(四中隊)
同 第三十三旅團	(四中隊)
同 第三十四旅團	(四中隊)
同 第三十五旅團	(四中隊)
同 第三十六旅團	(四中隊)
同 第三十七旅團	(四中隊)
同 第三十八旅團	(四中隊)
同 第三十九旅團	(四中隊)
同 第四十旅團	(四中隊)
同 第四十一旅團	(四中隊)
同 第四十二旅團	(四中隊)
同 第四十三旅團	(四中隊)
同 第四十四旅團	(四中隊)
同 第四十五旅團	(四中隊)
同 第四十六旅團	(四中隊)
同 第四十七旅團	(四中隊)
同 第四十八旅團	(四中隊)
同 第四十九旅團	(四中隊)
同 第五十旅團	(四中隊)



極秘

大海情 陸軍檢査部

露軍ノ近況

一一般ノ情況

(九月二十日大本營
陸軍幕僚調査)

遼陽ヨリ敗退セシ露軍ノ主力ハ目下奉天附近ニ
 集合シ其前衛ハ尚木渾河ノ南方ニ地歩ヲ占メ
 騎兵幕ヲ以テ三槐石ヨリ五里臺子ヲ經、長灘
 ニ具ル線ヲ警戒シ我軍ト近ク相對峙セリ其左翼
 部隊豫備步兵第九師及豫備步兵第五師等ハ撫順城附近ニ在リテ海浪
 塞、松樹嘴子ニ騎兵ヲ出シ在リ奉天本溪湖街
 道上ニ康大人山附近ニ其最前線アリ又其右翼
 部隊歩騎兵約四五千人ハ大民屯ニ在リテ遼河渾河間地
 域ヲ警戒ス

本旬ニ於テハ彼我ノ間ニ著シキ衝突ナリ候偵察隊
ノ時ニ相衝突スルアルノミ唯々去ル十七日撫順城方向敵
一部歩兵大隊騎兵ハ南進シ奉天ヨリ本溪湖方向ニ
前進スル敵歩兵大隊ト共ニ平臺子ニ在ル我梅澤旅
團ヲ攻撃セシモ反テ其撃退スル所ト爲レリ蓋シ此敵
ハ偵察ノ目的ヲ有スルモノナラン

奉天ニ於テハ露軍ハ糧食ノ缺乏ニ苦口ニツ、在ルモノハ
如シ九月十六日明石 是夜遼陽ニ於テ糧食全軍ノ八日分
黒鳩公、報告ニ依ル實際ハ尙ホ多數アリナラン我軍ノ南獲セシ米及蕎麥粉
三十万人ノ約三日分馬糧ハ馬匹五万頭ノ約六日分アリ他ハ焼失セシナラン
ヲ失ヒ結果ナラン其他遼陽ニ於ケル多數ノ銃砲彈
銃彈約百五十万發砲彈 及土工具 四匙十字鋏、斧等約ノ遺棄
約五十發ハ我南獲ニ歸ス 三万四千個ハ我南獲ニ歸ス 遺棄葉
モ亦大ニ露軍ニ苦痛ヲ與ヘ其結果糧食ノ缺
乏ト相待テ將來西伯利鐵道ノ軍隊輸送ヲ遲延

セシムルニ至ルニ現ニ日取兵ノ數日間ハ歐露ヨリ軍隊
ノ叢送無シトノ報アリ

遼陽戰鬪ニ於テ生シタルノ員傷者ハ去ル十日ヲ以テ鉄峯
以北ニ輸送シ畢リシカ如シ而シテ此戰鬪ハ八月二十
傷セシ將官及大佐ノ姓名判明セシ者十名内死者五
名傷者五名ナリ 其姓名
左ノ如シ

死者

後員加爾哥薩克獨立旅團長中將ニシテ(近來中將ニ昇進セリ)

担數歩兵第一師團長少將ルトコフスギ

歩兵第九師團長少將モルソ

隊備歩兵第五十四師團長少將フオ

担數歩兵第四聯隊長大佐ラバン

傷者

西伯利亞軍團長中將スタルケルベルグ

豫備歩兵第五十四師團長少將オルコフ

砲兵第九旅團長少將ハロソフスギ

担數歩兵第二聯隊長大佐オセルスギ

歩兵第百二十三聯隊長大佐クレンボスギ(且七百附サハラノ報ニハ軍ニタシホ
ヲ聯隊長トナリ姓名表ニ依リ之ヲ記ス)

其他姓名ノ未タ知レサル者モ多クナルヘク從フテ其以
 下ノ將校ノ損害モ非常ニ多クシテ之カ為メ教育未
 熟ナル弱年將校モ追テ補充ニ充テントシツ、在リト
 云フ十六日癸卯
石火佐報
 開戦以來遼陽陥落迄滿洲各地ノ戰鬪金州旅順ニ
方面ヲ除ク
 於テ兩路軍ノ死傷并ニ俘虜將校下士卒ハ總計四萬
 七千ニ上リ之ニ對スル我軍ノ死傷ハ二萬九千ヲ出テス(詳
細ハ別表参照)加之兩路軍ニ兩期開始頃ヨリ赤痢
 病發生シ其勢蔓延セシカ如ク哈爾濱ニ於テ離隔
 病院ヲ設立シ特別ノ患者列車ヲ設備シ又西伯利
 亞軍管區軍醫總監ノ管下ニ消毒隊二個ヲ
 設置六月二十
三日業セシヲ見レハ其病者ノ數モ亦我ニ比シ
 多キヲ推測レ得ヘシ今病者數ヲ死傷者數ノ約

三分ノ二ト仮定シ既ニ戰鬪ニ多典セシ步兵隊ニ就
テ現在員ヲ計算スレハ大隊ノ平均人員ハ概テ五
百八十人ニ過キサルヲ知ルヘシ

此ノ如ク減耗ヲ生セシヲ見レハ露國カペンザ區^{カガン}行政區^管

ニテ豫備步兵第五師團及第七師團ノ衛戍地ナリ附シヨリ補充兵ヲ送リツ、在リトノ

情報^{十六日發}明石大佐報ハ信スヘキカ如シ殊ニ前旬調^ニ記載セシ豫

備步兵第六十一師團或ハ第六十八師團ノ極東ニ輸送

セラルトノ報ハ此補充兵輸送ノ誤傳ナルカ如シ

アレキニテ極東ニ於ケル陸海軍ノ總司令官タル

ヲ辭シ露帝之ヲ許シ單ニ政治及外交上ノ事務

ヲ總轄セシノ哈爾濱^{駐在}ニ駐在セシメラル^{十五日發}ハ^{十六日發}報^又

極東總督ハ辭而シテ同官ハ十三四日頃浦塩要塞ノ防

備ヲ檢閲セリト云フ

黒鳥公ハ十五日將官會議ヲ開キ奉天防禦ニ決セ

リト傳フ十八日宇都宮
中佐報

奉天北方ニ台子ノ高地、停車場西方及奉天南方
渾河ノ西岸ニ曩ニ構築セル砲臺十八個アリシカ今
ヤ之カ防禦工事ノ完成ニ勉メツ、在リ

鐵嶺ニ於テモ亦本年五六月頃其南方約半里ノ高
地ニ砲臺三十五個、西方ノ平地ニ同十個ヲ築キシカ今ヤ
大ニ其防禦ノ事ヲ急キツ、在リ又同地ノ西北方馬蜂
溝ニ於テ遼河ニ架橋シ昌圖府、法庫門間ノ通
江口ニ於テモ架橋準備中ニシテ奉天鉄嶺間鉄道
ノ西側ニ沿フテ幅約十四米突、軍道ヲ開設シ在リト
云フ

九月八日ヨリ到着セル第~~一~~軍團ノ歩兵第~~二~~十七師團及

0138

其砲兵ハ總テ鉄嶺ニ下車セリ之ニ依リテ觀シハ後
續ノ増援軍モ亦同地ニ下車セシメラルハナラン

哈爾濱ニ於テモ既ニ防禦工事ニ着手シ在リテ同地
ニ在ル糧食ノ一部ヲ海拉爾ニ渡シ此兩地間ニモ鉄道

ニ沿フテ軍道ヲ開設セシカドシ

永陵附近ニ在リテ馬賊ヲ指揮セシマドリトフハ北ニ去

リ此方面ニ羅維圈溝邊外堡ニ永陵南方附近ニ步騎兵

七百砲二門大嶺附近ニ步騎兵約二千砲二門アリト云フ

以上韓國駐劄軍
司令官官報

咸鏡道方面ニ在リテハ咸興ヨリ退却セシ露兵ハ北

青ニ在リテ北方面ヨリ来リシ若干ノ露兵ト合シ其數

一千乃至二千砲八門ニ達セシカ去ル十四日騎兵四百餘

ハ甲山方向ニ退却シ目下北青ニ殘留セルハ二百餘ニ過

キス十五日居山北青東北利原利原中中於テ敵兵千百砲二門
ヲ見タリト云又北青道道路ハ既ニ開修セラレ電
信線ハ利原利原通シ北青南方二里迄電柱ヲ植立
セリ

以上ノ情況ニ依リ前旬ノ調査ヲ基礎トシ別紙露
軍ノ配置圖ヲ調製セリ

久シク疑問ニ置カレタル波羅的艦隊ハ愈々其一部ヲ
以テ去ル十二日頃クコンスタットヲ出發セシモ未タ丁抹

海峽ヲ通過スルニ至ラス

二、新ニ來着スル軍隊

本旬ニ入り露軍ノ到着ニ関シ得タル情報ヲ綜合
スレハ第一軍團ノ歩兵第二十二師團及砲兵第七旅
團ハ去ル九日ヲ以テ悉皆奉天ニ下車ヲ終リ續テ輸

送セル同軍團ノ第三十七師團ハ去ル八日ヨリ砲兵第
 四十三旅團ノ先頭中隊ハ十日ヨリ鉄嶺ニ下車シ十
 五日頃迄ニ此師團ハ到着シ終リシカ如シ
 西伯利第六軍團ノ先頭ハ十五日宇都宮報ニヨリ
 戦地ニ到着セリトノ報十七日久松アリシモ未タ確報接
 セス又續テ輸送セルコドンコサ可薩克第四師團ニ関
 シテモ情報ニ接セス
 野戦砲第四聯隊白得堡軍管区及其砲廠ハ極
 東ニ派遣スルコト、為リ九月十日別令アリト云フヲ
 以テ見ルハ該聯隊ハコドンコサ可薩克師團ニ續テ輸
 送セラレシナラン而シテ前旬調ニ在ル榴彈砲二中隊
 ノ哈爾濱へ派遣ノ情報ハ此一部ノコトナラン此砲
 到着中旬ナランセハ極東ニ在ル砲兵十中隊六十門ト

成ル在来ノ白砲ニ中隊ニヨリ第五隊ノ中隊ヲ加ハル此數ト成ル

其他豫備歩兵等ノ補充兵ハ目下發送中ナルカ如シ

三、新ニ動員若クハ編成ノ部隊

第八軍團ハ愈々十二日頃ヨリ動員ヲ始メ二十七日頃

之ヲ終ル筈ナリト云フ其動員ニ關スル勅令ノ要旨

ニ曰クオデッサ軍管區ヨリ極東ニ送ルハキ團隊并

ニ他軍管區ヨリ之ニ附屬スヘキ部隊、特設部隊、

豫備部隊ノ動員ヲ令ス之カ為メオデッサ軍管區

區ノ二十二徵募區ヨリ豫備兵ノ召集ヲ令スト

大井中佐報

又東部西伯利攻城砲兵聯隊(十中隊)ヲ編成ス

内一甲隊ハ既ニ極東ニ在ルモノヲ以テ充テ七中隊ハ攻

五

0142

城砲兵第一^ウ第二^カ第三^キ及高加索大隊
以上各^四中隊^ニ戦時^ハ擴張^スヨリ出シ二中隊^ハノウゲオル
キーウスク及イワンゴロド要塞砲兵ヨリ出ス竹古ナリ

ト云フ^{十八日}石^報

露國ハ右ノ如ク榴彈砲并ニ攻城砲ノシタ數ヲ極
東ニ派遣スルニ至リシハ多分^{遼陽}戰鬪ニ鑑ミル所
アリシニ由ルナラン黑鳩公ノ報告中日本軍ノ榴彈
砲ノ効力偉大ナルヲ記シ在リト云フハ此^消自心ヲ窺
フニ足ラン而シテ全國ニ在ル四大隊^{戰時}ハ攻城
砲兵ヨリ抽出スルヲ以テ足レリトセス^{要塞}砲兵
ヨリ攻城砲兵ヲ編成シテ出スカ如キハ其^規状ヲ
察スルニ足レリ

明治三十七年九月二十三日

大本營海軍幕僚

0144

自開戰至遼陽戰鬥主要戰鬥於之露軍損害數(覽表) (金州南山(順方面)を除く)

戰日	戦場	露軍参戦兵力	露軍死傷	露軍損害	我軍損害	備考
五月一日	九連城	砲四〇門 機砲八門	四〇〇〇	一〇三九		
六月十日	得利寺	歩三七六 騎二四中 砲六門	八〇〇〇	二六三		
六月十四日	分水嶺	砲一六門 騎九中	五〇〇	一二		
同日	接官所	砲九中 騎八中	二〇〇	約 五〇		
七月四日	摩子天嶺	歩九六	三〇〇	五四		
七月十七日	摩子天嶺	砲六門 騎六中	二二〇〇	二九九		
七月十九日	細河沿	砲三三門 騎三七中	一〇〇〇	四五三		
七月二十七日	大石橋	砲二一門 騎二六中	一〇〇〇	一〇七七		
八月一日	榆樹村	砲六四門 騎一三三	二、〇〇〇	九〇五		
同日	新木城	砲六三門 騎一八八	二、〇〇〇	八六八		
八月十三日	子浪子山	砲一三門 騎一六五	三、〇〇〇	二九三		
八月二十一日	遼陽附近	砲五七〇門	四六二〇〇	三七九六		

敵ノ損害數推測ニ供セシ資料

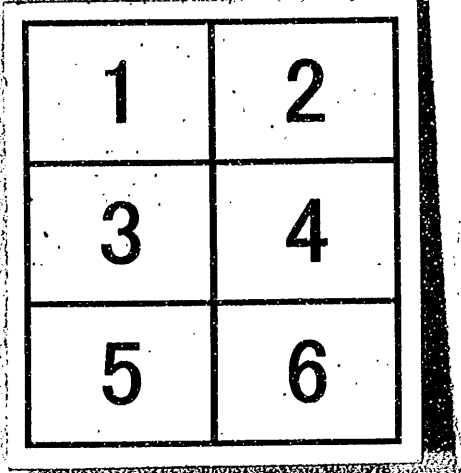
露軍の損害推測は、五月七日の露軍報告に依り、歩兵五六大隊砲兵四隊、機砲八門を失せ、死者三二名、捕虜六三、傷者一二八、合計一六三と推測せられた。八月三日の露軍報告に依り、歩兵五八大隊砲兵四隊、機砲八門を失せ、死者三三、捕虜六六、傷者一二八、合計二一九と推測せられた。八月十四日の露軍報告に依り、歩兵一〇八大隊砲兵八隊、機砲八門を失せ、死者九七、捕虜七三、傷者二一八、合計二九〇と推測せられた。八月二十七日の露軍報告に依り、歩兵一三三大隊砲兵一三門を失せ、死者一〇七、捕虜七三、傷者二一八、合計二九八と推測せられた。八月三十一日の露軍報告に依り、歩兵一三三大隊砲兵一三門を失せ、死者一〇七、捕虜七三、傷者二一八、合計二九八と推測せられた。

我軍の損害推測は、八月三日の露軍報告に依り、歩兵五八大隊砲兵四隊、機砲八門を失せ、死者三三、捕虜六六、傷者一二八、合計二一九と推測せられた。八月十四日の露軍報告に依り、歩兵一〇八大隊砲兵八隊、機砲八門を失せ、死者九七、捕虜七三、傷者二一八、合計二九〇と推測せられた。八月二十七日の露軍報告に依り、歩兵一三三大隊砲兵一三門を失せ、死者一〇七、捕虜七三、傷者二一八、合計二九八と推測せられた。八月三十一日の露軍報告に依り、歩兵一三三大隊砲兵一三門を失せ、死者一〇七、捕虜七三、傷者二一八、合計二九八と推測せられた。

露軍の損害推測は、五月七日の露軍報告に依り、歩兵五六大隊砲兵四隊、機砲八門を失せ、死者三二名、捕虜六三、傷者一二八、合計一六三と推測せられた。八月三日の露軍報告に依り、歩兵五八大隊砲兵四隊、機砲八門を失せ、死者三三、捕虜六六、傷者一二八、合計二一九と推測せられた。八月十四日の露軍報告に依り、歩兵一〇八大隊砲兵八隊、機砲八門を失せ、死者九七、捕虜七三、傷者二一八、合計二九〇と推測せられた。八月二十七日の露軍報告に依り、歩兵一三三大隊砲兵一三門を失せ、死者一〇七、捕虜七三、傷者二一八、合計二九八と推測せられた。八月三十一日の露軍報告に依り、歩兵一三三大隊砲兵一三門を失せ、死者一〇七、捕虜七三、傷者二一八、合計二九八と推測せられた。

備考
一、露軍の損害推測は、五月七日の露軍報告に依り、歩兵五六大隊砲兵四隊、機砲八門を失せ、死者三二名、捕虜六三、傷者一二八、合計一六三と推測せられた。
二、我軍の損害推測は、八月三日の露軍報告に依り、歩兵五八大隊砲兵四隊、機砲八門を失せ、死者三三、捕虜六六、傷者一二八、合計二一九と推測せられた。
三、本表は、露軍の損害推測は、五月七日の露軍報告に依り、歩兵五六大隊砲兵四隊、機砲八門を失せ、死者三二名、捕虜六三、傷者一二八、合計一六三と推測せられた。我軍の損害推測は、八月三日の露軍報告に依り、歩兵五八大隊砲兵四隊、機砲八門を失せ、死者三三、捕虜六六、傷者一二八、合計二一九と推測せられた。

分割撮影ターゲット

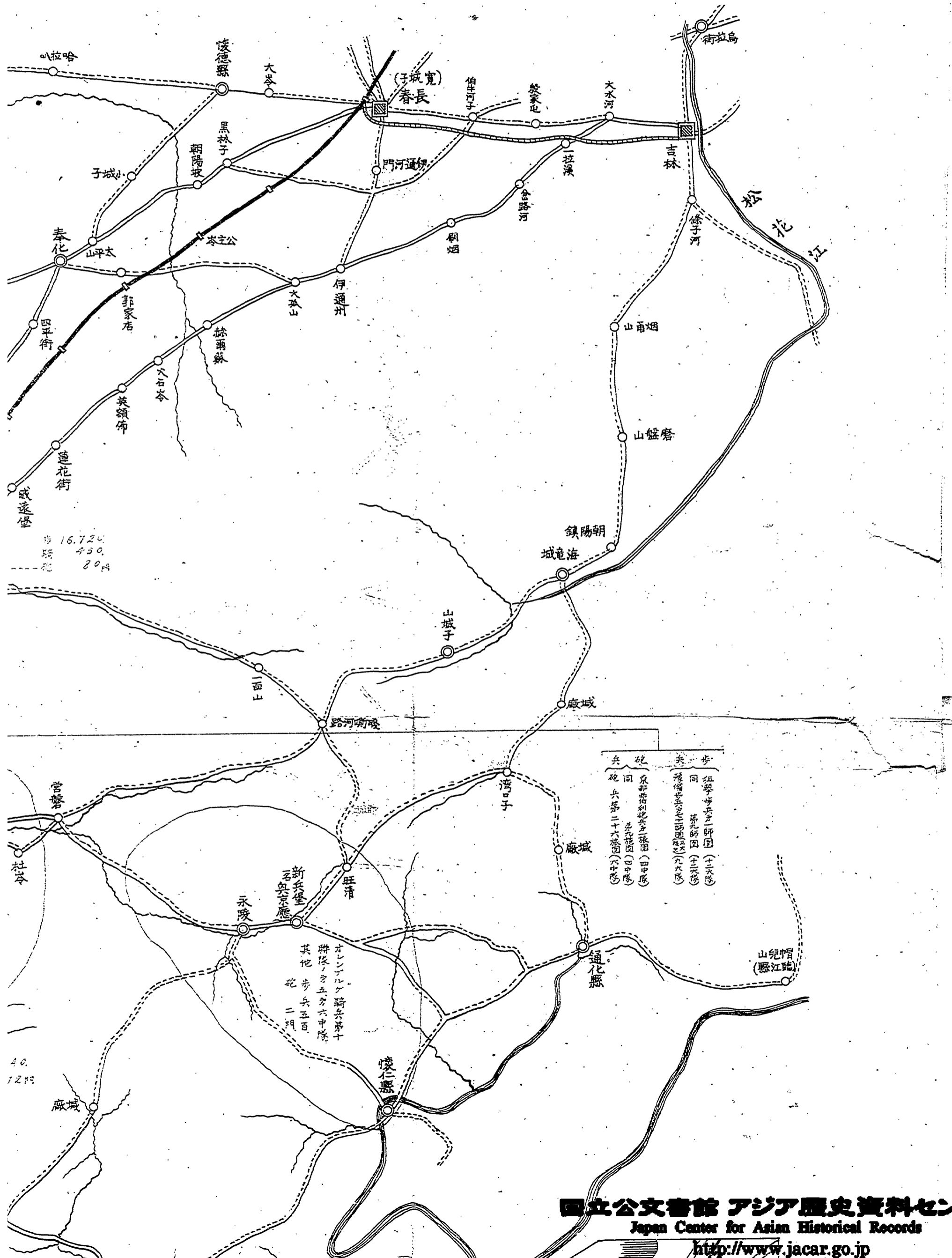
分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

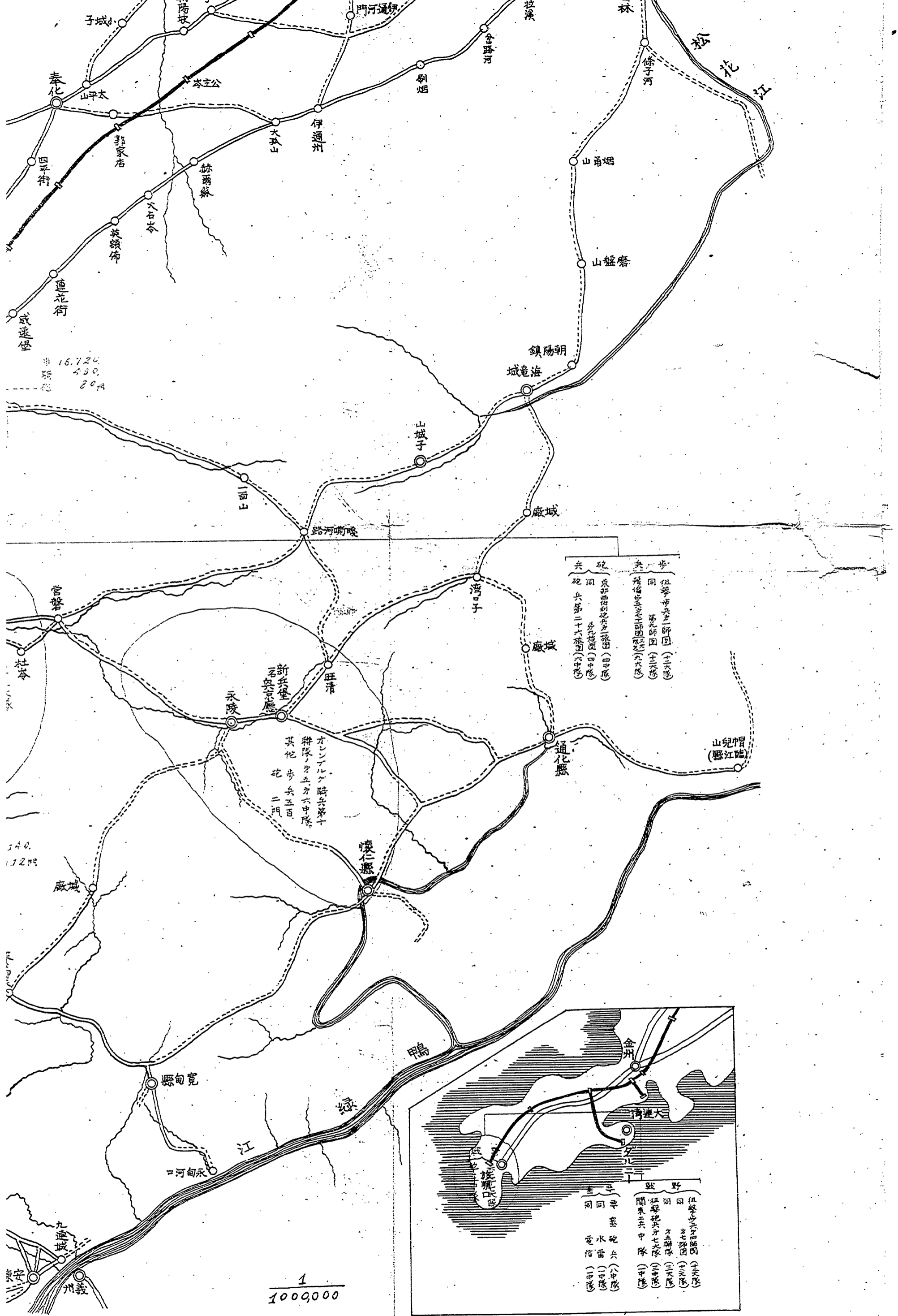
0146
0147
0148
0149
0150
0151

置配之軍露東極

日謀參軍陸營本大日十月九年七十三治明)

秘

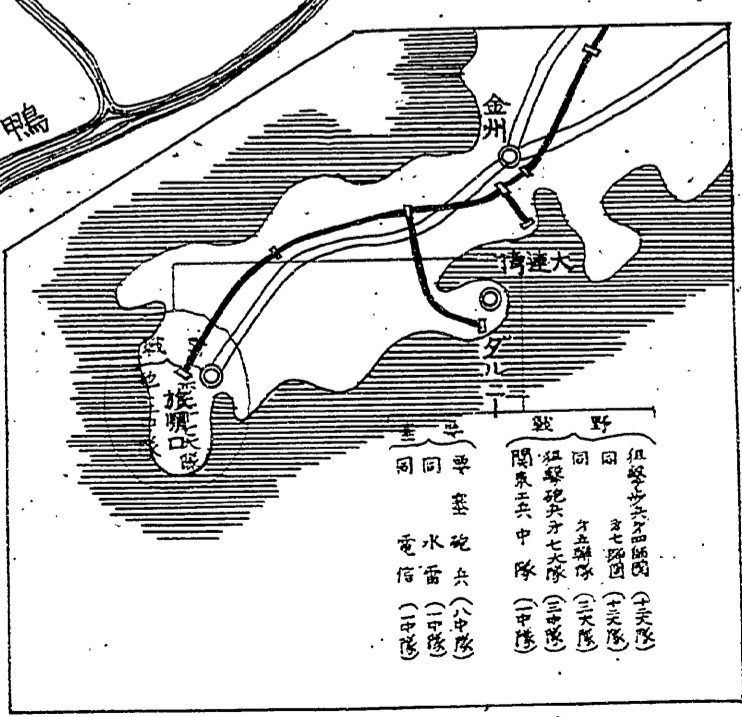




步兵
組率步兵一師團(十二大隊)
同 第九師團(十三大隊)
同 城守步兵二師團(二十六大隊)

砲
砲隊(砲台砲隊)四師團
同 砲隊(砲台砲隊)四師團
同 砲隊(砲台砲隊)四師團

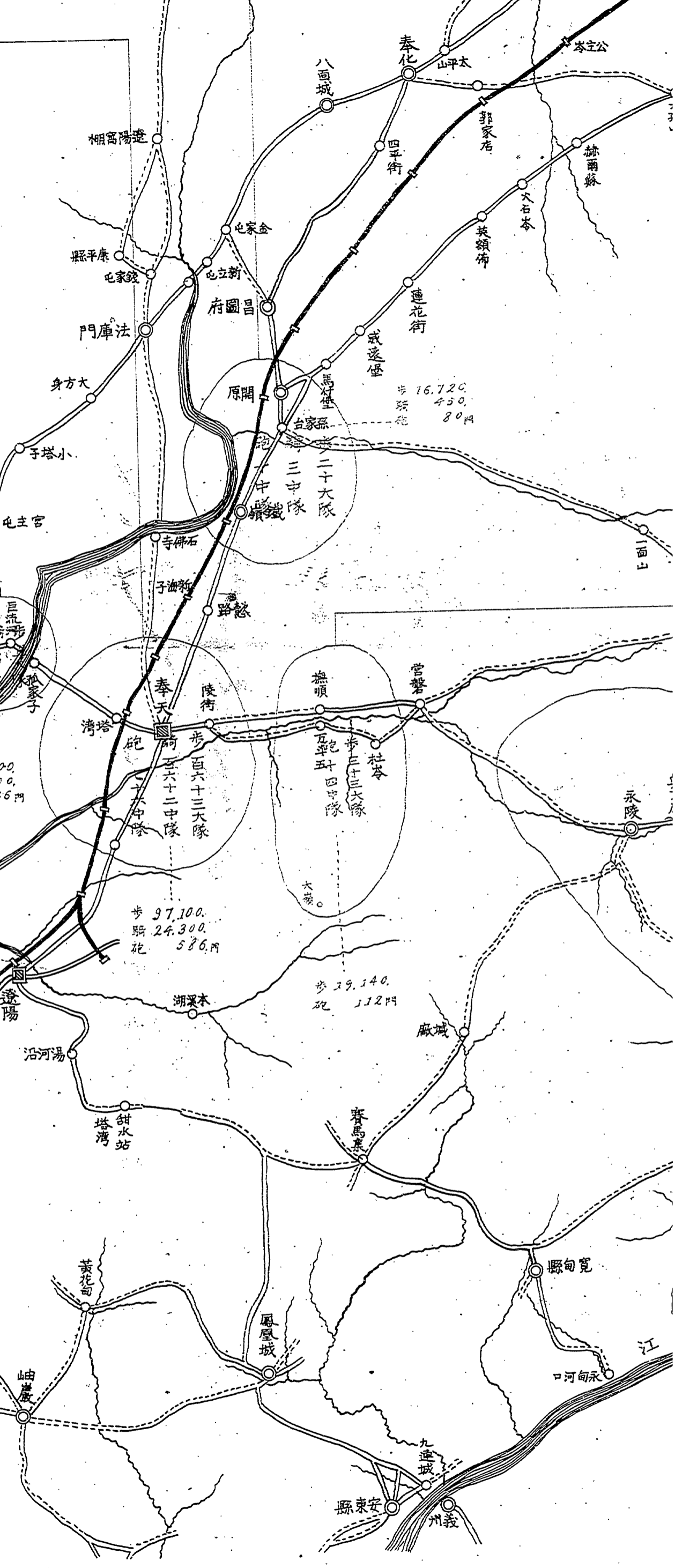
オランダ軍
オランダ軍 騎兵十
騎隊、步兵五、六中隊
其他 步兵五百



騎		兵		歩	
龍騎兵第五十一聯隊	(六中隊)	步兵第九聯隊	(十中隊)	步兵第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十二聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十三聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十四聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十五聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十六聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十七聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十八聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十九聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第六十聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)

騎		兵		歩	
龍騎兵第五十一聯隊	(六中隊)	步兵第九聯隊	(十中隊)	步兵第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十二聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十三聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十四聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十五聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十六聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十七聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十八聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十九聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第六十聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)

騎		兵		歩	
龍騎兵第五十一聯隊	(六中隊)	步兵第九聯隊	(十中隊)	步兵第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十二聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十三聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十四聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十五聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十六聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十七聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十八聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第五十九聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)
同 第六十聯隊	(六中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)	同 第三十一聯隊	(十中隊)



步兵 二百二十三大隊 十三万六千三百七十八

考 備

一、西伯利隊備步兵第三師團、第十一聯隊、第二大隊、所在不明ナルヲ以テ本團ニ記入セス

二、全 第一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経北方面ニ輸送セラレ右全断

三、莫斯科選拔歩兵第四師團、第七聯隊、遠陽附近ニ在リ、報ニ據セシモ其後、行動不明ナルヲ以テ之ヲ省ク

四、黑龍省薩克騎兵聯隊、七中隊、西伯利哥薩克第一聯隊、一中隊、全軍十聯隊ノ四中隊ハ所在不明之ヲ省ク

五、東部西伯利砲兵第二第四旅團、各二中隊ハ所在不明之ヲ省ク

六、工兵隊、其所在不明、モノヲシ故ニ之ヲ省ク

七、鴨綠江利寺、檜樹林子、紅砂嶺及沙河附近ノ戰鬥ニ於テ砲合計六十門、即チ約七中隊半ヲ鹵獲シタレヲ以テ目下其數ヲ減シ在ルモノトス

八、歩兵一大隊、既ニ戰死シテ在リ、八百八十人、新米、歩兵第二師團ノ八大隊及第三十七師團ニ在リ、八百九十人ト計算シ騎兵一中隊、八百五十人トシテ計算シ其數ヲ示セリ

九、本團外ニ歐路ヨリ增加スヘキ左ノ團隊アリ

西伯利第六軍團 (歩二十四大隊、砲十二中隊)

第八軍團 (歩三十二大隊、砲十四中隊)

野戰砲兵第四師團 (砲二十四中隊)

東部西伯利砲兵聯隊 (砲九中隊)

東部西伯利騎兵聯隊 (騎一中隊)

西伯利騎兵第六軍團、歩兵聯隊、八師團、第二大隊編成ナルカ到着ノ情況ヨリ察スルハ三大隊編成ナルカ如シ依テ姑ク三大隊編成トシテ本團ヲ調製ス

東部西伯利砲兵第六軍團、歩兵聯隊、八師團、第二大隊編成ナルカ到着ノ情況ヨリ察スルハ三大隊編成ナルカ如シ依テ姑ク三大隊編成トシテ本團ヲ調製ス

東部西伯利砲兵第六軍團、歩兵聯隊、八師團、第二大隊編成ナルカ到着ノ情況ヨリ察スルハ三大隊編成ナルカ如シ依テ姑ク三大隊編成トシテ本團ヲ調製ス

東部西伯利砲兵第六軍團、歩兵聯隊、八師團、第二大隊編成ナルカ到着ノ情況ヨリ察スルハ三大隊編成ナルカ如シ依テ姑ク三大隊編成トシテ本團ヲ調製ス

計 歩兵 二百三十大隊 騎兵 二十七中隊 砲兵 四十一中隊 工兵 一中隊

砲 砲兵第七旅團 (砲一中隊)

砲 砲兵第四十三旅團 (砲一中隊)

砲 砲兵第二十八旅團 (砲一中隊)

砲 西伯利砲備砲兵旅團 (砲一中隊)

騎 西伯利哥薩克騎兵聯隊 (騎三聯隊)

歩 歩兵第三十七師團 (歩一中隊)

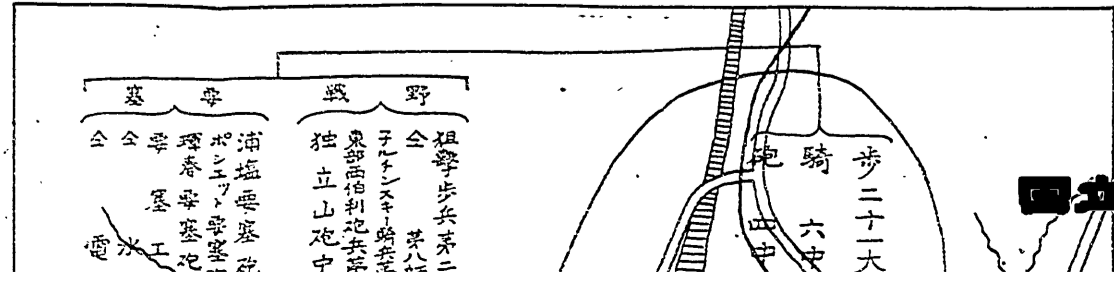
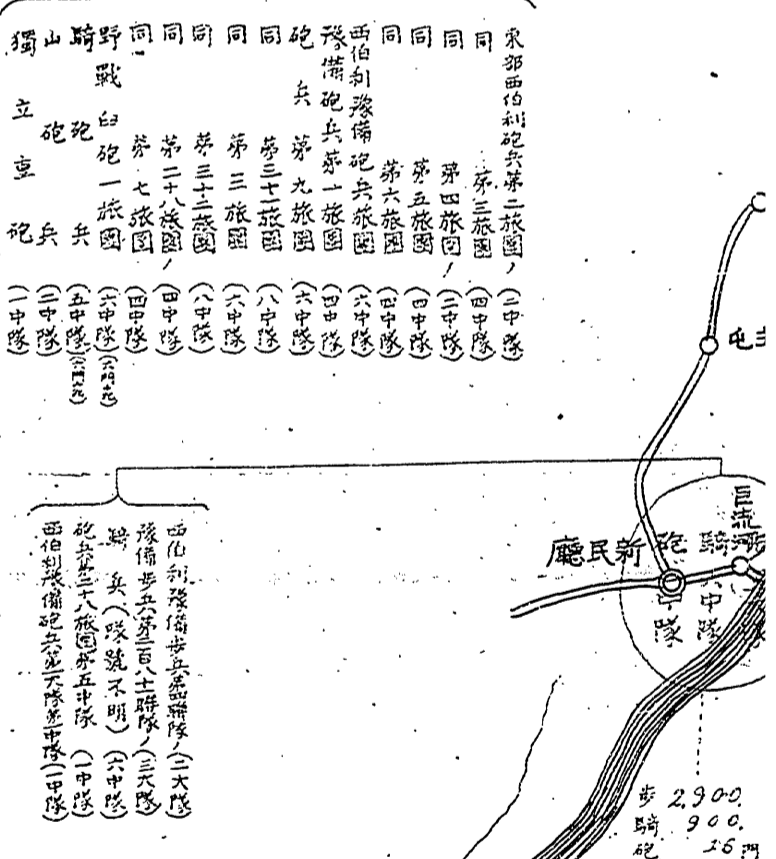
歩 歩兵第九師團 (歩一中隊)

歩 西伯利砲備砲兵旅團 (歩一中隊)

歩 隊号不明ノ歩兵 (歩一中隊)

兵	騎	歩
馬隊里哥薩克騎兵聯隊 (六中隊)	沿海州龍騎兵聯隊 (六中隊)	粗寧歩兵第三師團 (十三大隊)
黑龍省薩克騎兵聯隊 (六中隊)	後貝加爾騎兵第一聯隊 (六中隊)	同 歩兵第五師團 (十三大隊)
西伯利哥薩克騎兵聯隊 (六中隊)	西伯利哥薩克騎兵第六聯隊 (六中隊)	同 西伯利砲備砲兵第一師團 (十三大隊)
同 第九聯隊 (六中隊)	オレンブルグ騎兵第一聯隊 (六中隊)	同 砲兵第二師團 (十三大隊)
同 龍騎兵第五十二聯隊 (六中隊)	同 西伯利哥薩克騎兵第一聯隊 (六中隊)	同 歩兵第九師團 (十三大隊)
同 西伯利哥薩克騎兵第二聯隊 (六中隊)	同 後貝加爾騎兵第二聯隊 (六中隊)	同 砲兵第三師團 (十三大隊)
同 西伯利哥薩克騎兵第三聯隊 (六中隊)	同 西伯利哥薩克騎兵第一師團 (六中隊)	同 歩兵第三十五師團 (十三大隊)
同 高加索騎兵旅團 (六中隊)	同 オレンブルグ騎兵師團 (六中隊)	同 砲備砲兵第五十四師團 (十三大隊)
同 高拉馬騎兵旅團 (六中隊)		同 砲兵第二十二師團 (十三大隊)

計 總		
(除テ西方利薩島及哨嶺)		
砲 兵	騎 兵	歩 兵
百。二中隊	百七十三中隊	二百三十大隊
七百九十六門	二萬五千九百五十騎	十三萬六千三百零八人



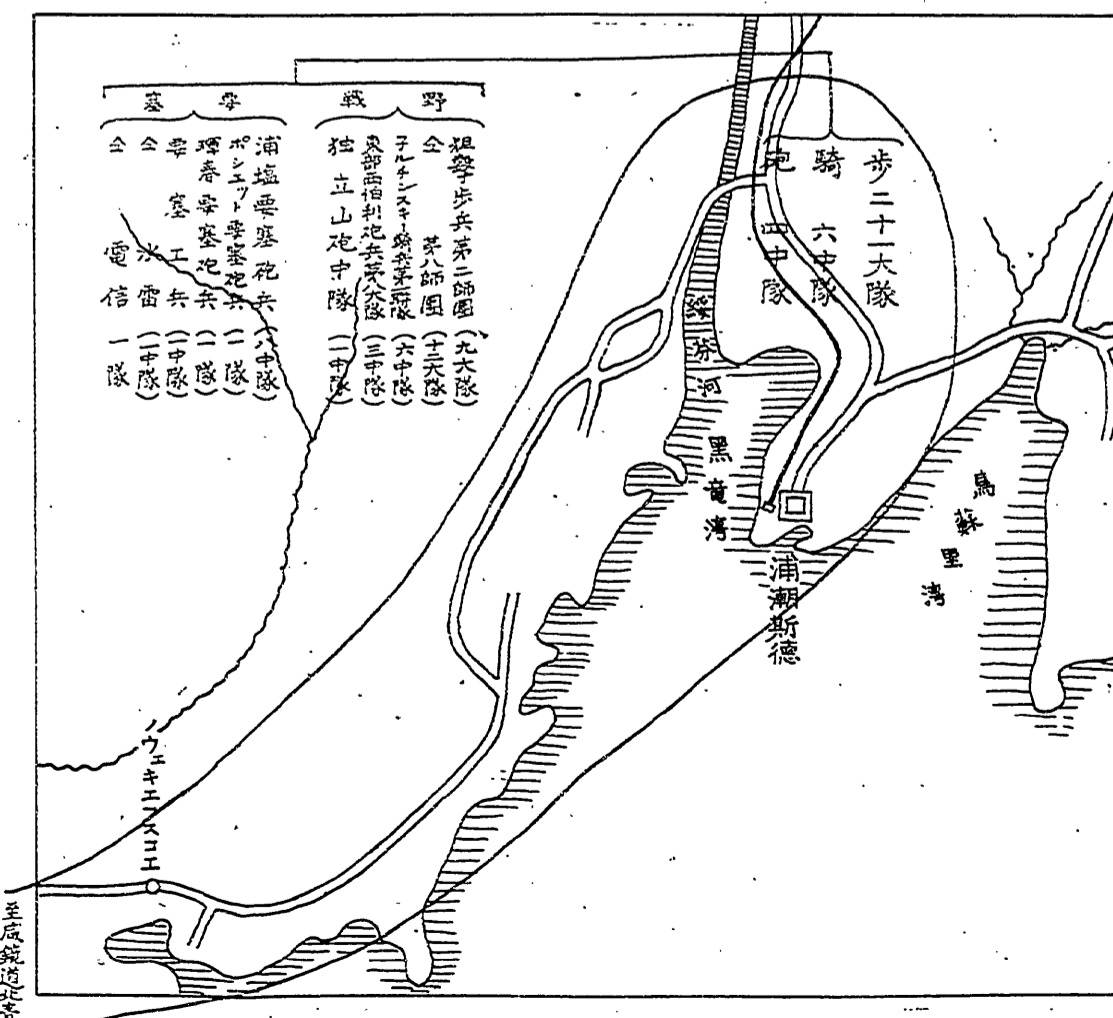
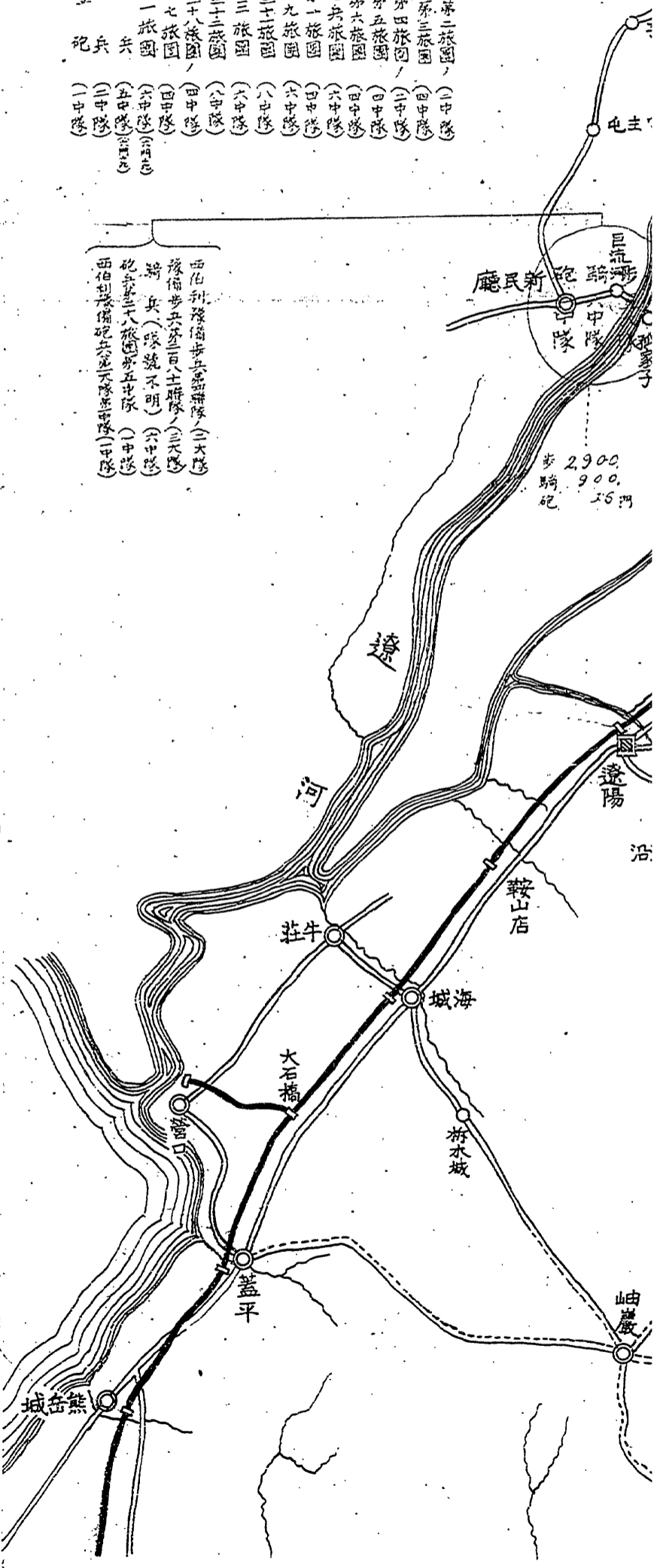
(二十六隊) (二十七隊) (二十八隊) (二十九隊) (三十隊) (三十一隊) (三十二隊) (三十三隊) (三十四隊) (三十五隊) (三十六隊) (三十七隊) (三十八隊) (三十九隊) (四十隊)

歩		騎		兵	
孤軍步兵第三師團	(十六隊)	烏蘇里哥薩克騎兵旅團	(六中隊)	沿海州龍騎兵旅團	(六中隊)
同 第五師團	(十六隊)	黑龍哥薩克騎兵旅團	(六中隊)	龍騎兵旅團	(六中隊)
同 第六師團	(十六隊)	後貝加爾騎兵旅團	(六中隊)	同 第九聯隊	(六中隊)
西伯利亞備步兵第一師團	(十六隊)	同 第六聯隊	(六中隊)	同 西伯利亞騎兵旅團	(十六隊)
同 第二師團	(十六隊)	同 第七聯隊	(六中隊)	同 高拉爾騎兵旅團	(十六隊)
同 第三師團	(十六隊)	同 第八聯隊	(六中隊)		
同 第四師團	(十六隊)				
同 第五師團	(十六隊)				
同 第六師團	(十六隊)				
同 第七師團	(十六隊)				
同 第八師團	(十六隊)				
同 第九師團	(十六隊)				
同 第十師團	(十六隊)				

計 總

(除地方兵及砲兵)

砲兵	騎兵	步兵
百。二中隊	百七十三中隊	二百二十三大隊
七百九十六門	二萬五千九百五十騎	十三萬六千三百六十八人



第三師團、第十一聯隊、第二大隊、所在不明ナリヲ以テ本國ニ記入セム

第一師團、八月二十五日奉天ヲ経テ北方ニ輸送セラルル全師團

第四師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第五師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第六師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第七師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第八師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第九師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第十師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第十一師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第十二師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第十三師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第十四師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第十五師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第十六師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第十七師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第十八師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第十九師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第二十師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第二十一師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第二十二師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第二十三師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第二十四師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第二十五師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第二十六師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第二十七師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第二十八師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第二十九師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

第三十師團、遼陽附近ニ在リシト、報ニ接セシモ其後ノ行動不明ナリヲ以テ之ヲ省ク

計 步兵五十六中隊 騎兵二十四中隊 砲兵四十一中隊 工兵一中隊



大海情陸第拾參號

露軍ノ近況

一、一般ノ情況

(九月三十日大本營
陸軍幕僚調査)

奉天附近ニ在ル露軍ハ本旬間著シキ移動ヲ為シ
唯、其騎幕ハ稍後退シ海浪塞、奉集堡、板橋堡、紅
稜堡、頭台子及楊士崗子ノ線ニ在リテ多數ノ騎兵ヲ
以テ後方ヲ掩蔽シ且ツ我ヲ捜索セリ之カ為メ彼我在候
偵察隊ノ衝突ハ依然絶ヘス又去ル二十二、二十三日板橋堡
附近ニ輕氣球ヲ飛揚シ我軍ヲ偵察セリ

彼我ノ衝突中著シキモノヲ掲クハ去ル二十日大山嶺及三
龍峪ニ在ル歩兵一大隊、騎兵五六百、砲兵一中隊二十七日
中佐報ニ依リ大山嶺ニ在リシ機関砲ヲ有スル
ハ我三輪聯隊ヨリ
ハ我三輪聯隊ヨリ

攻撃手ヲ受テ若干ノ死傷ヲ出セリ
又日本軍ノ兵カラ 敵ノ公報ト稱スルモノニ六七
ニ旅團トセリ 又二十二日午後敵兵約二千砲四門ハ梅澤
旅團ノ後方响子山ニ出テモ 我兵ノ抵抗ノ為メ軍三十數
双死ノ砲撃ノ後退 去セリ此等東方山地間ニ旅ケル我
ノ行為ハ 露軍ヲシテ大ニ奉天ノ東方ニ顧慮セシメ
 我大縦隊ノ全方面ニ活動スルヤノ杞憂ヲ懐カシメタル
カ如シ 意シアリトアリ又奉天城ノ東方ニ防備ニ事ヲ施シ撫順城ニ三千八百
ノ兵アリテ防部ヲ事ニ從事セルト比較的多數ノ
兵ヲ奉天東方ニ割キアルトハ之カ証タリ
 敵方ノ公報ニ依レハ去ル十七日平台子ニ在ル梅澤軍旅團
ヲ攻撃手セシ 敵ハ撫順城ノ方向ヨリスルモノハレン子ニカンゾ
中將克 近頃中將ニ昇進後員カ尙可薩
ハムリノフ 少將西伯利司可薩
師團ヲ指揮ス 指揮ニ屬セシカ如シ而シテ
 今尚ホ我梅澤軍旅團ノ前面近クニ停止シ其主力ハ海

塞附近ニ在リ奉集堡主モ主カアリシカニハ八日北ガ退去シタルカ如シ

マトリトフハ通化ニ退キ千五百ノ馬賊ハ張占元ヲ指

揮ニ在リト云フ又懷仁ニ一萬ノ兵集合ストノ風説アリ

奉天、鉄嶺及哈爾濱ニ於テハ盛ニ工事中ニシテ特ニ奉

天ニテハウエリチコ少將ノ指揮ヲ以テ電氣ヲ應用セル最

新式ノ防禦ノ事ヲ施シツ、在リ又哈爾濱ニ於テハ冬季

大兵ヲ集中シ得シカ為メ急造廠舎ヲ築設シツ、在リト

云フ去ル十八日頃法庫門附近地圖ヲ調査シツ、在リ加ニ近來該地方ニ於テハ支那人ニ

對スル監査一般ノ嚴ヲ加ヘ之カ為メ露軍到着ニ関スル

諜報ヲ得ルコト稍ハ少クナレリ

第一軍團ノ後尾ハ去ル二十日ヲ以テ悉皆鉄嶺以南ニ

到着セシカ之ニ續テ輸送セル西伯利第六軍團ハ二十日

ニ至リ漸ク其先頭ヲ以テ鉄嶺ニ到着下車セリ蓋シ遼

陽敗退ニ因リ、哈爾賓以南ノ氣車輸送ニ憂調ヲ及
ホレ續テ全地以南ニ輸送スル能ハサルニ因ルカ、將夕補
充兵等ノ輸送ノ為メ延着シタルナランカ而シテ此間鉄
嶺通過ノモノハ多クハ担數手歩兵各隊ノ補充兵ノシ
ナリト云フ是ヲ以テ奉天附近ノ敵ノ兵力ハ前旬ト大
差ナシ

滿洲第二軍司令官トシテウキリチ軍管區司令官
歩兵大將グリペンベルグヲ任命セリ、白王帝ノ去ル二十
五日同官ニ與ヘタル勅語ニ依リハ露國ハ戰爭ノ終局ヲ
急カンカ為メ滿洲軍ノ兵力ヲ大ニ増加スルニ決心セシコト
明カナリ而シテ從來ノ滿洲軍ハ之ヲ第一軍ト為シ依
然クロバトキンヲシテ指揮セシメ此兩軍ヲ總轄セシム
ル為メ驍兵大將ニコライ、ニコラエウキツチ太公アレキサンドロ
ウリキチニセノ

弟ナル同姓大公ノ長子ニ
シテ現職驛兵總監ナリ
ヲ起シメメントスト云フ
一説ニハアリキ
擬スルアリ或ハドラゴロフ
將軍ヲ任命スヘシトアリ
又シバトギンヲ以テ西軍ヲ
指揮セシムトモアリ
一説ニハアリキ
總員令官

旅順方面ニ於テハ去ル十九、二十日龍眼北方高地并ニ
水師營南方高地其他標高^{〇三}ノ東南高地ノ堡壘
ハ我軍ノ攻略スル所ト為リ尋テ二十三日ノ夜我軍ヨリ
龍眼水源地ノ導水管ヲ杜塞セテレシ為メ今ヤ用水ニ缺
クシカカ為シ蒸餾水製造ニ多量ノ石炭ヲ要スト云
フ又副食物等モ缺乏セシニ因リ此等密輸入ニ有元
手段ヲ講シ旅順對岸ノ陸地ヨリ廟島ニ寄航シ小
舟ヲ以テ密カニ我監視ヲ脱シ輸入シツ、在リ又港内軍
艦ハ去ル二十八日ヨリ毎日我砲撃ヲ受ケ頗ル困却セルノ
状アリ

咸鏡道ニ於テハ北青ニ騎兵三百、砲二門、洪原ニ百餘

騎アリテ南方咸関嶺ニ在候ヲ派遣シ在リシカ去ルニ
 十六日洪原ニ在リシ敵ハ同地集積ノ糧秣ヲ悉ク燒
 棄シ北方ニ退却セリ摩天嶺南麓ニ千以下ノ騎兵
 城津ニ千以下及砲六門アリ摩雲嶺ノ道路ハ開修
 中九月八日頃ヨリニ同日頃、尚中事ニシテ同地以北ハ到ル所牛車ヲ通ス又
 電信ハ利原マテ通セリト云フ度興ノ架橋ハ八月下旬
 流失シ九月十日日架設ニ着手セントスル巨京況アリト
 云フ

二十八日露都癸風説ニハリ子ウイツチノ韓國侵入策
 ハ全然断念セリト廿九日宇都又同風説ニヨク同大將ハ
 浦塩附近ニ集合シ在ル諸隊ヲ以テ二十四日哈爾濱
 向ヒ行進ヲ起シタリト二十五日宇都浦塩方面ニ増加
 ハ哈爾濱ニ集合スト云フ

0157

以上ノ諸狀況ニ照ラシ前旬ノ調査ヲ基礎トシ露軍ノ配置一覽圖ヲ調製セリ又察陽戰鬥ニ至ルマテ各地ノ戰鬥ニ參照セシ露路軍ノ部隊モ諸情報依リ大ニ明カト為レリ依テ之ヲ一覽圖ニシテ参考ニ資ス

二、増援軍隊ノ出發及到着

第一軍ニ屬スル砲兵第四十三旅團六中ハ去ル十六日ニ乘リ開原ニ下車シ十四乃至二十日ノ間ニ氣車或ハ徒歩シテ鉄嶺ヲ通過シ南下セリ步兵第四十七師團ノ第一旅團最後尾ノモ又十七日鉄嶺ヨリ南下セリ但シ二十二日マテ是等諸隊ハ奉天ニ到着セスト云フ多ク分奉天ノ北方ニ駐止セルヤラン

去ル二十五日頃、鉄嶺ヲ通過シ列車ハ東部西伯利粗撃步兵ノ補充兵ノミヲ搭載スト云フ

西伯利第六軍團ハ八月十六日後ニ輸送ヲ始メ九月八
日頃其後尾未タ出發シ畢ラサル徵候アリト云フ其
報井中佐然ルニ一方ニ於テハ同軍團第七十二師團ノ第三
八十五聯隊第二百八十六聯隊及工兵第六大隊ハ八月
二十七日頃ニサマラニ通過ノ報九月二十日アルヲ以テ見
ハ其未タ發送ノモノハ後尾ノ歩兵二聯隊ノコナラン而
シテ同軍團ノ先頭タル歩兵第五十五師團ノ第二百七
十聯隊ノ一大隊ハ二十六日鉄嶺ニ来リ下車セリ故ニ同
軍團ハ鉄嶺附近ニ集ホ中セラル、ナラン
右ノ第六軍團ノ大部ニ續テ歐露ヲ出發セシ部隊
ノ順序ニ関シテハ未タ判然タラサルトコロアリ然ラ
トモ諸情報ヲ綜合シテ推断セハ概テ左ノ如シ

一、野戰臼砲第四聯隊

九月十日送別會アリ十日附テ
出發ヲ命ゼラル

二、輕氣球大隊

九月上旬ツルシヤウ出發同西日大
隊長コワヨ大佐ヲ路都出發

三、東部西伯利亞第九至第十師隊

九月二十日前ニ出發ノ東京況アリ
同月七日附テ編成命令アリ

四、ドンコサ薩克第四師團

九月十六日師團長ハ尚ホ露
都ニアリレトノ報アリ

五、豫備步兵第六十一師團

九月二十日オレンブルグニ於テカザン軍管區司
令官檢閲及市民送別會アリ
二十日ヨリ輸送ヲ始メタルカ如シ

右ノ如ク砲兵ハヲ至急派遣スルニ至リシハ蓋シテ東陽戰
闘ノ映響音ナラン而シテ九月上旬ニ軍隊ノ交戦ナキハ此間
ニ彈藥サキヲ主トシテ輸送セシカ將々西伯利亞地方ヨリ

軍隊殊ニ補充兵ヲ輸送セシニ依ルナラン

ホデツサニテ動員セシ第八軍團ハ二十八日露都ヲ出發

セル白王帝ノ檢閲ヲ受ケ續テ出發ノ豫定ナリト云フ

又久松少佐ノ報ニ依レハ數千ノ補充兵ハ露都ヲ出發

シツハ在リ將校ノ補充ハ志願ニ因ルト云ヘリ此補充兵ハ

前ニ列記セシ部隊ノ間ニ介シテ輸送セラレシナラン其

他クラスノヤルスク及イルクツクノ可同薩克各半聯隊ハ

西伯利國民兵六旅團ト共ニ出發シ鐵道ノ守備ニ任スル

ケ吉ナリト云フ 二十日大井
中佐報

東部西伯利山砲第六中隊同砲兵彈藥縱列ハ九月

十四日チエリヤビンスク 通過 船職ニ四百名ハ十七日莫

斯科 通過 東行セリ 二十四日大井
中佐報

0161

三、新編成動員部隊

滿洲軍兵力増大スルニ依リ之ヲ二軍ニ分チ既ニ第一軍
司令官任命ノ報アリシコト既述ノ如シ而シテ其新ニ
編成セラルヘキ第二軍ノ編成ニ関シテハ左ノ四節アリ

一、二十四日宇都宮中佐報二十日露都発風説

第一師團ヨリ成ル
第二軍ハ第一八軍團西伯利第六軍團獨立騎兵

二十六日宇都宮中佐報

第二軍ハ第一八軍團ヲナリナ軍管區ヨリノ四軍團
隊ヲ動員ノ風説アル
ハ第三四軍團ノシ
ワルシヤウ軍管區ヨリノ一軍團
隊ヲ動員ノ風説アルハ第五、
第六、第九軍團ナリ
第一軍(目下三十萬ト称ス)ノ一部ヲ
カ(二十五萬ニ率)スヘク哈爾濱ニ集ホ中未春ヲ期シ
テ(軍)動ヲ開始セントス

三、同日久松少佐報

第一、第八軍團及將ニ動員セント風説スルウキリナ
ワルレヤウ軍管區ヨリ各一個軍團ヲ取り計
四軍團ヲ以テ編成セラルナラン而シテ未春使用セ
ントスル目的ナルカ如シ

四、二十八日宇都宮中佐報

第二軍ハ第一八軍團西伯利第六軍團及西伯利
第五軍團ノ一部カザンノ第六十八師團トヨリ成リ
奉天ノ東方ニ集中ス(此風説ハ稍ヤ事實ニ近キカ
如シ)

未夕其孰レカ信ナルヤヲ知ル能ハサルモ其事實ニ近
キト思ハルモノハ第四ノ説ニシテ尚ホ之ニ第十八軍團
ト西伯利第七軍團ヲ加フルナランカ(第六十八師團ハ第六十一
師團ノ誤リナラズ)

滿洲軍ヲ二軍ニ編成スルノ議ハ種々詮議ノ上成立シタ
 ルカ如ク途中クロパトキンノ令下ニ二軍編成ノ議アリシモ
 最初ノ計畫ノ如ク家ニクロパトキンノ軍ト對立スル第ニ
 軍ヲ編成スルコトニ決セラレタリト云フ 廿七日大報又曰ク露國
 陸軍部内ニ攻勢派ト守勢派アリテ輒輟ス今固裝
 ケラレタル第ニ軍司令官グリペンベルグハ攻勢派ニシテ主
 旨クロパトキント全ク相反ス 二十七日報此第ニ軍ヲ何レノ方面
 ニ使用スヘキヤ不明ナルモ若シ現在ノ狀況ナレハ奉天ノ
 東方則チ吉林ヨリ興京ニ通スル山道ノ方向ニ使用
 得ヘクニ十日露路都奏風説ハ此意ヲ傳フ 二十七日報若
 シ露軍鉄嶺及其以北ニ撤退セハ齊河々哈爾濱ヨリ法庫
 門方向ニ作戰スルヲ得ヘシ其何レナルヲ問ハス現在ノ
 クロパトキンノ軍ト分離シタル地點ニ集中スルノ必要アリ

之ヲ以テ此編成實施ノ際ハ我軍ヲシテ乘スヘキノ好
機ヲ失フルナキヲ保セス

第十八軍團ハ目下動員中ナルカ如シ八月二十九日宇都宮
中佐報ニ既ニ此事

アリ今又九月二十五日
長尾少佐報ニ此事見ユ

豫備歩兵第^{六十一}師團カマシ及全第^{五十二}師團

ヲ以テ西伯利第^七軍團ヲ編成ストノ報アリ長尾報

豫備歩兵第^{五十二}旅團ヲ師團ニ擴張シ師團長以下

ノ任令アリ長尾報又全旅團ヨリ編成スルキ第^{六十九}師團

職員ノ大部ハ任令セラレタリ二十八日大井報是等師團ハ第

八軍團ト同時ニ動員セラレタルナラン

豫備歩兵第^{六十一}師團ト共ニ同幹部ヨリ編成マ

シ第^{七十八}師團ハ補充ノ為メ内地ニ残留スルナラント云

フ二十一日
長尾報

豫備歩兵旅團中動員せしモノハ今ヤ左ノ六個ニ達セリ

平時基幹部隊

戦時編成部隊

豫備歩兵第五十旅團(カザン) 六月十日 動員

第五師團

平時定員ニシテ一隊ハ二大隊

同 第五十一旅團(カザン) 九月中旬 動員

第五十二師團

第五十三師團(戦時定員) 他々多分平時定員多シ

同 第五十四旅團(カザン) 六月十日 動員

第五十四師團

戦時定員(西伯利亞) 五師團ヲ編成ス

同 第五十五旅團(カザン) 六月十日 動員

第五十五師團

同右(西伯利亞) 第六師團ヲ編成ス

同 第五十六旅團(同) 六月十日 動員

第五十六師團

平時定員ニシテ一隊ハ二大隊

同 第五十七旅團(カザン) 六月十日 動員

第五十七師團

第五十八師團(戦時定員) 他々平時定員多シ

オテツカ 軍管區ニテ豫備砲兵第六十五旅團ヨリ編成セラルヘキ豫備砲兵第六十五十二、第六十五十三旅團長ヲ任命セリ

大井報此旅團モ亦第八軍團ト同時ニ動員セリナラン又九月七日附ヲ以テ東部西伯利亞砲兵第九乃

至第十二中队及第二、第九乃至第十二砲兵彈藥
縦列ノ編成ヲ命シテ第一、第二中队ニ(東)射砲
ヲ支給セリト云フ

八月下旬ハ爾賓カザンリビンスクニ可薩克馬匹補
充部隊ヲ設置セリ(同右)

八月中旬以來編成セル攻城砲兵聯隊(十中队)ハ左
ノ部隊ヲ以テ編成セリ(二十三日)
ノ格報

攻城砲兵第三大隊本部並ニ第三中队

大隊ハ戰時聯隊ト爲ル又同大隊ヨリ六月九日勅令ニテ既ニ第二
中队ヲ出シ東部西伯利攻城砲兵中队ト爲シ其餘中队ヲ補填セリ

同 第一大隊ノ第一、第四中队

同 第二大隊ノ第三、第四中队

高加索攻城砲兵大隊ノ第一、第二中队

ノウオゲラルギエウスク要塞砲兵第十六中队

イワンゴロド要塞砲兵第十中隊

東部西伯利攻城砲兵一中隊

以上ノ速射山砲ノ増設攻城砲兵並ニ馬匹補充部隊

ノ新設ハ去ル八月十八日勅員令ノ結果ナランカ

黒龍烏蘇利後員加再ニ在ル補充大隊八個ヲ第

一乃至第八新ニ編成セシ三大隊ヲ第九乃至第十一西

伯利補充大隊ノ内六個ヲ第十二乃至第十七東部西伯

利豫備大隊ト改称セリ二十日大井報而シテ西伯利ニ於テ國民

軍二十四大隊四旅ノ編成ヲ完結セシカ内ニ旅團ハ出発

セリト云フ

在極東西伯利第一乃至第三軍團ノ編成ハ其作戰ノ

形跡ヨリ見シハ著シク従来ノモノヲ変更セラレタルカ如シ

而シテ別紙戦闘參謀部隊一覽圖ニ依レハ東部西伯利

但數年第一師團ハ同第九師團ト共ニ得利寺大石橋方面
 ニ作戰シ同第五師團ハ他ノ部隊時トシテハ步兵第三十一師團ノ
 ト共ニ析木城方面ニ作戰シ同第三師團同第六師團ハ九
 連城摩天嶺方面ニ作戰セシヲ以テ自然其行動ヲ共
 ニシタル師團ヲ以テ軍團ヲ編成シタルモノト見做スヲ得
 ヘシ但第五師團ハ獨立シアルカ如クナレトモ
 依リニ獨立出ノ情報ニ從フ

四、軍隊ノ給養及鐵道輸送

極東露軍ノ取リツ、在ル給養法并ニ鐵道ノ利用法ハ
 諸情報ニ依リ漸次明瞭トナレリ今其要ヲ摘記セン
 露軍ハ哈爾濱ニ蒸氣製粉所七個所或ハ十個所ヲ設
 ケ月々七十六萬斤ノ麵粉ヲ製製造ス又權謀肉製製造所
 一個アリ其他寬城子吉林奉天ニモ大ナル製粉所アリ

西伯利及滿洲ノ鐵道線ニ沿テ獸類補充場、屠
 場、麵包焼所ヲ備フル集積所二十個ヲ置キ補給
 供ス
 生獸ハ全ク地方調辦ニ依ル即チ北部及東部滿洲
 并ニ沿海州ヨリ徵集レ尚ホ黑龍州、後貝加爾州西部西
 伯利地方一帯其他蒙古ヨリ追送ス
 或ル調査本年七月頃伯林ニ依レハ其第一地方前記數集ノ
 二ハ食牛六十五萬六千頭、小家畜羊豚六萬千頭アリ
 又第二ノ地方ニ於テハ牛二百十一萬五千頭、小家畜二百
 五十八萬頭以上ヲ有スト此數量ハ牛ノコレニテモ目下極
 東ニ在ル露路軍ノ約六ヶ年分ノ量ニ當ル一軍團一日ニ牛百
頭ヲ要ストトシ極東
軍隊ヲ十二軍
團ト計算ス但シ歐露ニ用スル鐵道ニ由ラスレテ食ホメ得
 へキ第一地方ノ食牛ハ一年半ヲ支ヘサルヘシ

又馬糧ハ滿洲ノシテハ缺乏ヨリ告クルカ故ニ後貝加再
及西部西伯利ヨリ調辦シ在ルト云フ

此ノ如クナルヲ以テ歐洲ヨリ輸送スル糧食品ハ目下砂糖

引割麦罐詰肉ノ類ニ過キス哈爾濱ニハ既ニ多量ノ

糧食ヲ集積シ在リ又罐詰肉ニ三百萬個及砂糖

千^千ブ^ブード^{ード}ニ^ニ西^西貢^貢ニ^ニ百^百萬^萬噸^噸ハ^ハ既^既ニ^ニ必^必要^要ノ^ノ地^地ニ^ニ集^集積^積セラ^ラレ^レタ^タリ

ト云フ

以上ノ情況ナルヲ以テ從來後貝加再鐵道ノ輸送力

日^日九^九乃至十列車ヲ通シ得ルニ^ニ月^月限^限セス其約五列車ヲ割テ

專ラ増援軍隊ヲ輸送シ僅カニ四五列車ヲ以テ糧食

ノ輸送其他ノ用ニ供シ在ル所以ヲ解スルニ足^足ラン^{ラン}ノ^ノ平^平ヲ^ヲ除^除ク

三十三輛ノ列車ハ約四軍團ノ糧食一月分ヲ輸送シ得ヘレ即チ目下ハ十三

軍團ニ達セサルカ故ニ三列車ヲ糧食輸送ニ用ヒハ足ルノ計算ト為ル

然レトモ西路國ハ其西伯利鐵道輸送力全部ヲ喪失

テ軍隊用ニ供シ在ルヲ以テ沿道ノ人民ノ困苦甚シク
之カ為メニ去ル七月十三日イルクツグ市會ニ於テハ同市
等ノ糧食等輸送ノ為メ一日ニ二十六輛以上ノ列車ヲ
分與セラレシコトヲ請願スルニ決レ近來政府ハ車輛數
ヲ制限シテ後貝加爾地方等ノ人民ノ要求ニ應ジタリト
云フカ如キ其窮狀ノ一斑ヲ窺フニ足レリ
西伯利鐵道ノ軍隊用以外ニ用ヒアル列車ハ歐露ヨリ
イルクツグ迄毎週四回ノ急行列車ト毎日一回家ノ郵便
乗客列車及貨物乗客混合列車ニシテ後貝加爾線
ニ在リテハ毎日郵便乗客列車一回過キサルモノ如シ七
十日ヲストリチノエオボズ
レーニヤ新聞記載
之ニ依リテ觀レハ從來輸送力ノ最小ナル後貝加爾鐵
道ニ於テハ左ノ如ク毎日其列車ヲ使用シ在リシヲ知ルシ

軍隊輸送
糧食輸送

郵便旅客輸送等

五列車

三列車

一、二列車

十一

増援軍隊ノ有スル輜重ハ九月二十三日久松少佐ノ報告
ニ依リハ一師團ニ車輜二輪二百十三ニシテ一軍團ニハ五
百四十輜上馬匹千二百頭ナリ而シテ携行糧食(携
帶共)ハ八日分ナリト即チ師團輜重ヲ有スルモ新規
定ノ一軍糧食縦列ヲ有セサルヲ知ルヘシ軍糧食縦列ヲ有
スル時ハ十日分ノ携
行糧食ヲ有
スルキ苦ナリ
貝加爾湖線ノ開通ニ関シテハ諸種ノ報道
アリシカ愈シ本月二十五日ヨリ軍用列車ノ運轉ヲ開始
セリト云フ

チエリヤビンスタ、哈爾濱間ハ今ヤ全線一日ニ軍用十二
列車ヲ運行シ一列車ハ二十五車輜ヨリ成ルトノ報ハ稍

0173

信スヘキカ如シ牧野公使ノ得タル諜報 ニ十七日發報ニシテ露國參謀本部
 奉職スル某少佐ヨリ ニ依レハ此内ニ列車ヲ以テ人員千七百
 出タルモノナリト云フ
 名ヲ輸送シ他ノ十列車ヲ以テ彈藥 十八輛ヲ用ヒ糧食 他物ヲモ積ム
 馬匹 二輛 及行李 一輛 ヲ輸送スト云フ此配當ハ勿論時々
 変更スヘク其彈藥ノ輸送ノ多キハ 遼陽戰鬪後
 ナリレカ故ナラン而シテ其糧食ノ輸送ノ少ナキハ一顧ハ
 價値アルヘシ 糧食ハ一日四十輛即チニ 又同諜報ニ依レハ莫斯
 科ヨリ哈爾濱迄ノ全距離ヲ通過スルニ十七、八日 日見加
 横濱 ノ為メ三乃至 五日 ヨリ 含メテ ヲ要シ 此間チエリヤビンスク以東ノ十一停
 車場ニ於テ二時間ツノ停止ヲナレ其他ノ十六停車
 場ニ於テ各十五分間停止シ途中積換ヲ行ハスレテ
 直行シ哈爾濱ヨリ歸途ニ就クト云フ
 從來ノ輸送方法ニ依ルハイルクツツ及海拉爾ニ軍隊ヲ

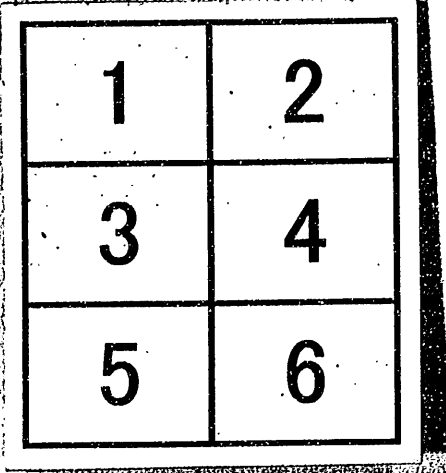
下軍セシノ更ニ別列車ニ搭載シタルカ如シ而シテ莫斯
科、哈爾濱間ニ約三十五日ヲ西ニセリ若シ前記ノ報
ニシテ真ナラシメハ貝加爾湖線ノ開通シタル今日
ニ在リテハ従来ノ日數ノ約半ハニシテ哈爾濱ニ到著
スルモノト見サルヘカラス斯ノ如キ急遽ナル變化ハ信ス
ヘカラサルカ如シ鬼ニ角之カ真不白ハ將來ノ情報ニ依
リ判知スルヲ得ン

明治三十七年十月四日

大本營海軍幕僚

0175

分割撮影ターゲット

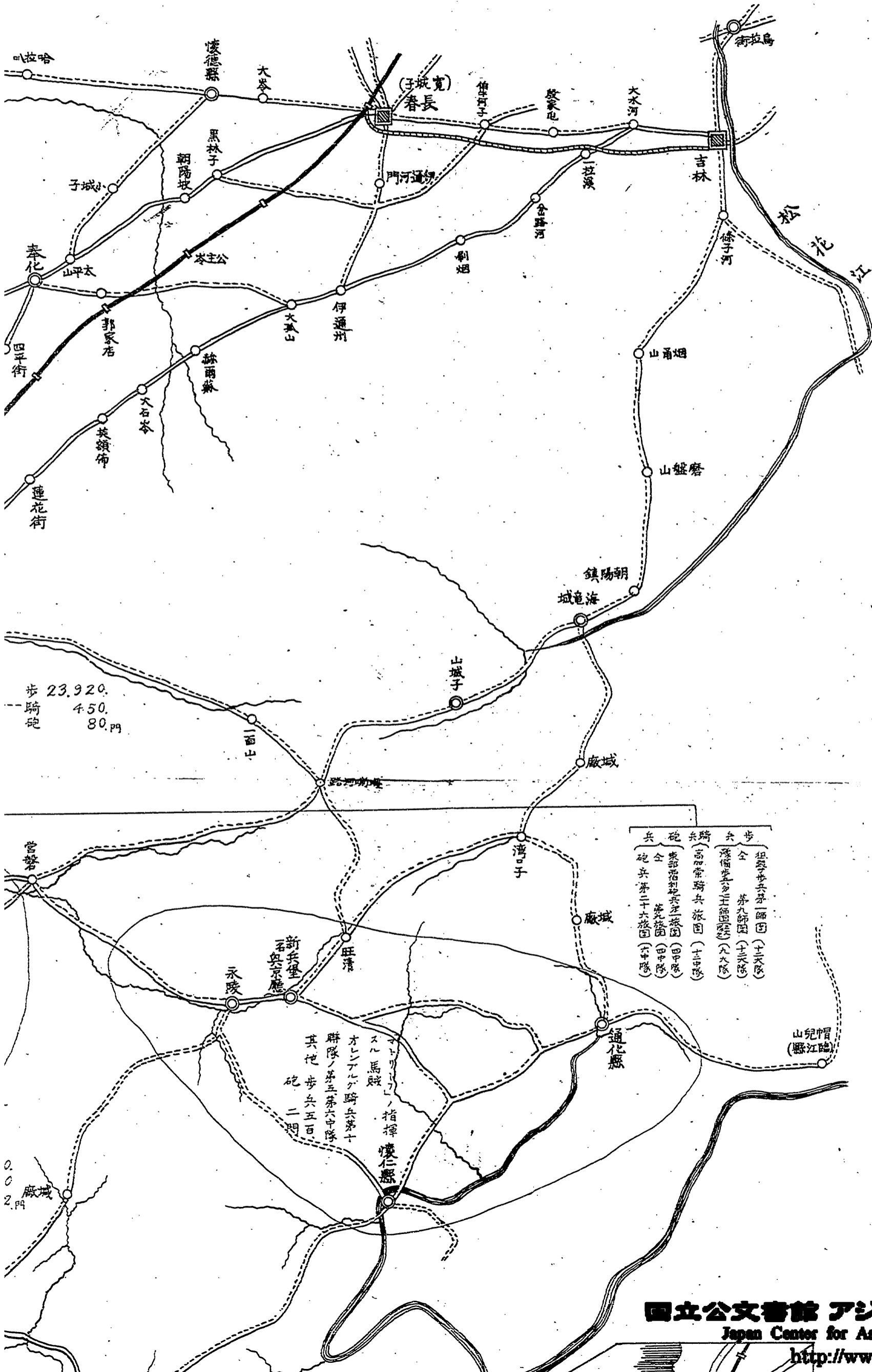
分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

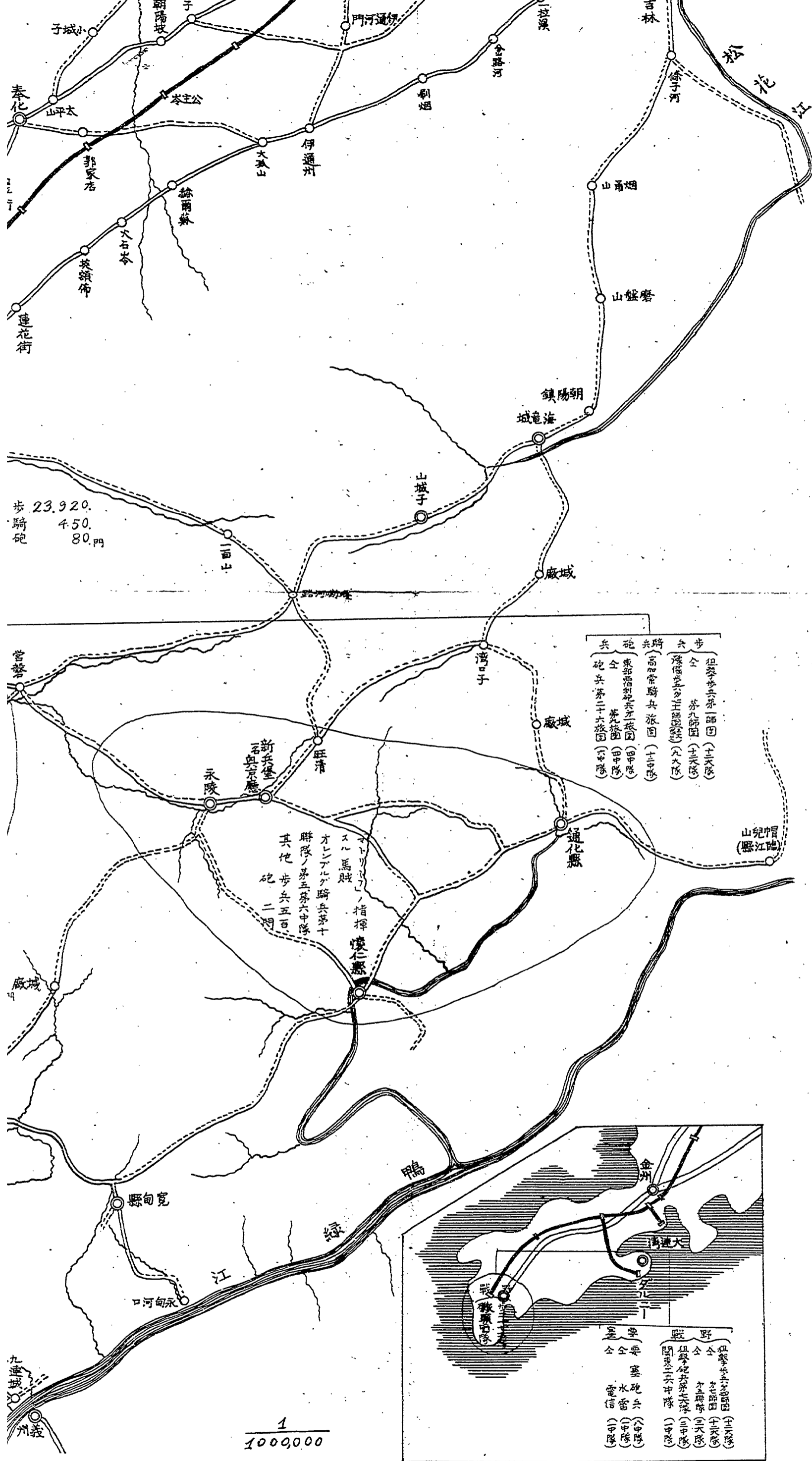
0176
0177
0178
0179
0180
0181

極東露軍之配置

秘

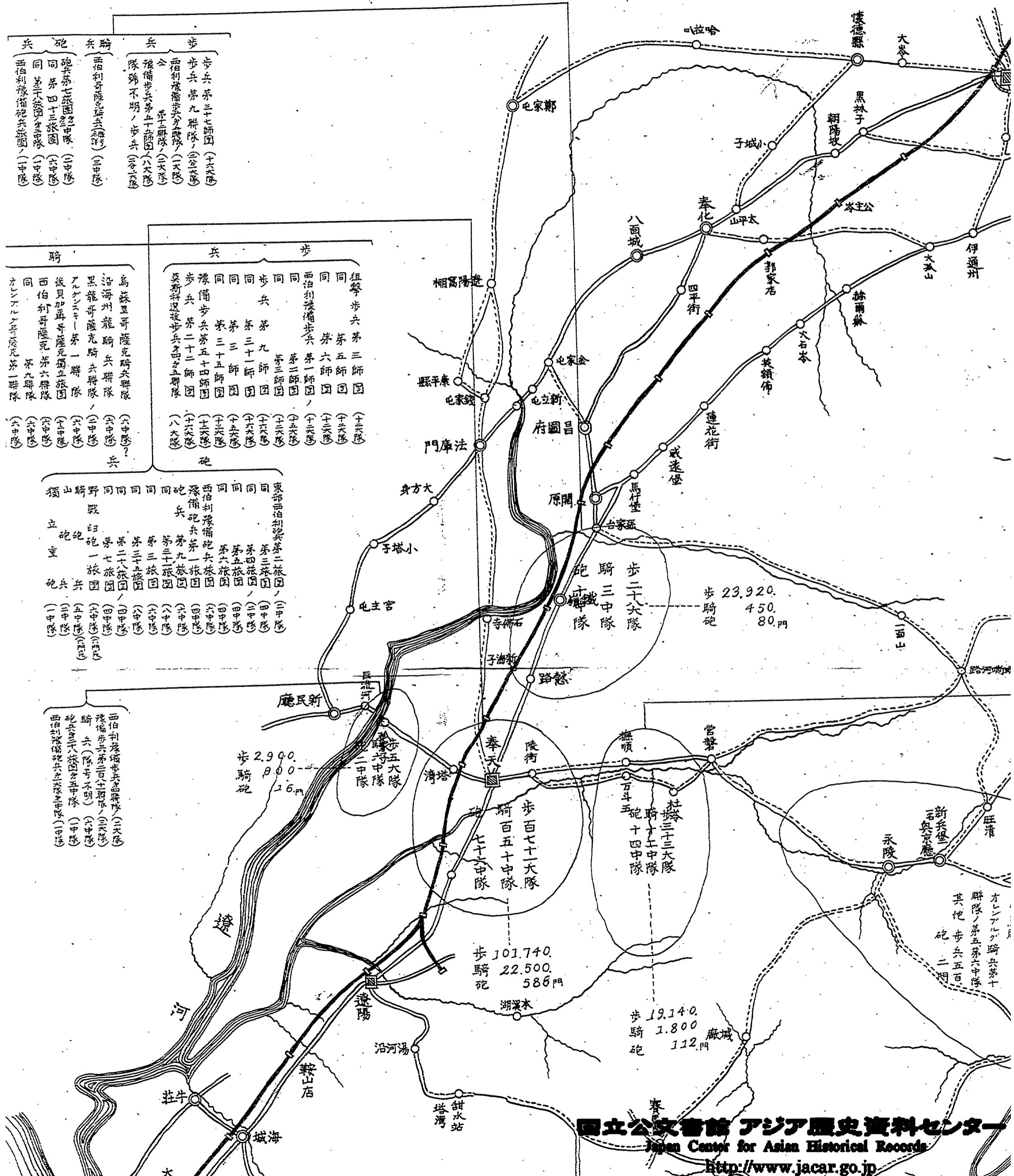
(明治三十三年九月十三日大本營陸軍參謀)





圖略置配之軍

(調部謀參軍陸營本大日三月)



兵	砲	騎
步兵 第七師團 (十六大隊)	砲兵 第七師團 (二中隊)	騎兵 第七師團 (二中隊)
步兵 第九師團 (十六大隊)	砲兵 第九師團 (二中隊)	騎兵 第九師團 (二中隊)
步兵 第十一師團 (十六大隊)	砲兵 第十一師團 (二中隊)	騎兵 第十一師團 (二中隊)

兵	砲	騎
步兵 第三師團 (十六大隊)	砲兵 第三師團 (二中隊)	騎兵 第三師團 (二中隊)
步兵 第五師團 (十六大隊)	砲兵 第五師團 (二中隊)	騎兵 第五師團 (二中隊)
步兵 第六師團 (十六大隊)	砲兵 第六師團 (二中隊)	騎兵 第六師團 (二中隊)

兵	砲	騎
步兵 第一旅團 (四中隊)	砲兵 第一旅團 (一中隊)	騎兵 第一旅團 (一中隊)
步兵 第二旅團 (四中隊)	砲兵 第二旅團 (一中隊)	騎兵 第二旅團 (一中隊)
步兵 第三旅團 (四中隊)	砲兵 第三旅團 (一中隊)	騎兵 第三旅團 (一中隊)

兵	砲	騎
步兵 第四旅團 (四中隊)	砲兵 第四旅團 (一中隊)	騎兵 第四旅團 (一中隊)
步兵 第五旅團 (四中隊)	砲兵 第五旅團 (一中隊)	騎兵 第五旅團 (一中隊)
步兵 第六旅團 (四中隊)	砲兵 第六旅團 (一中隊)	騎兵 第六旅團 (一中隊)

備考

一、西伯利亞豫備步兵第三師團、第十一聯隊、二大隊、所在不明ナルヲ以テ本圖ニ記入セズ
 二、全、莫斯科遠征步兵第四師團、二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北カシムル途ニ於テ第一軍ニ對シテト明カトナリテ以テ之ヲ加フ
 三、莫斯科遠征步兵第四師團、二大隊、其後、行動不明ナリシカ邊ニ於テ第一軍ニ對シテト明カトナリテ以テ之ヲ加フ
 四、東部西伯利亞砲兵旅團、七中隊、西伯利亞砲兵旅團、二中隊、全共二聯隊、二中隊、オレンブルグ砲兵旅團、九聯隊、四中隊、所在不明之ヲ省ク
 五、東部西伯利亞砲兵旅團、二中隊、所在不明之ヲ省ク
 六、二大隊、所在不明之ヲ省ク
 七、鴨綠江得利寺橋樑林子、紅砂嶺及沙河附近ニ於テ砲合計六十門、即チ約七中隊半ヲ函獲シタルヲ以テ目下其數ヲ減シ在ルモノトス
 八、步兵一大隊、既ニ戰鬥ヲ交ヘシ部隊ニ在リテ、五百八十人、新來步兵第三十二師團、八大隊及第三十七師團、八大隊及第三十七師團、八大隊、所在不明之ヲ省ク
 九、本圖外ニ、歐露ヨリ增加スルキ左ノ部隊アリ
 西伯利亞第六軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第八軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第九軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第十軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第十一軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第十二軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第十三軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第十四軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第十五軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第十六軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第十七軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第十八軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第十九軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第二十軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第二十一軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第二十二軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第二十三軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第二十四軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第二十五軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第二十六軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第二十七軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第二十八軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第二十九軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第三十軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第三十一軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第三十二軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第三十三軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第三十四軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第三十五軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第三十六軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第三十七軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第三十八軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第三十九軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第四十軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第四十一軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第四十二軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第四十三軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第四十四軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第四十五軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第四十六軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第四十七軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第四十八軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第四十九軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第五十軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第五十一軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第五十二軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第五十三軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第五十四軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第五十五軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第五十六軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第五十七軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第五十八軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第五十九軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第六十軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第六十一軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第六十二軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第六十三軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第六十四軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第六十五軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第六十六軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第六十七軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第六十八軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第六十九軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第七十軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第七十一軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第七十二軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第七十三軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第七十四軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第七十五軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第七十六軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第七十七軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第七十八軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第七十九軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第八十軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第八十一軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第八十二軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第八十三軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第八十四軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第八十五軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第八十六軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第八十七軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第八十八軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第八十九軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第九十軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第九十一軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第九十二軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第九十三軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第九十四軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第九十五軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第九十六軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第九十七軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第九十八軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第九十九軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)
 西伯利亞第一百軍團 (歩十六大隊 砲十二中隊)

計 歩兵六十四大隊 騎兵二十四中隊 砲兵四十八中隊 工兵一中隊

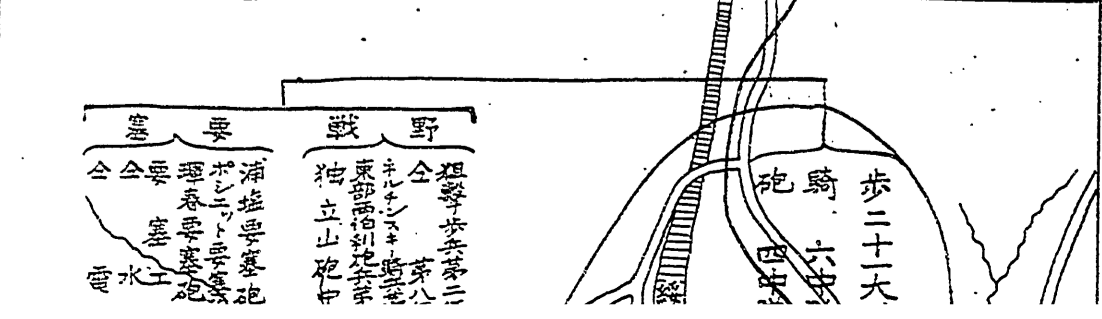
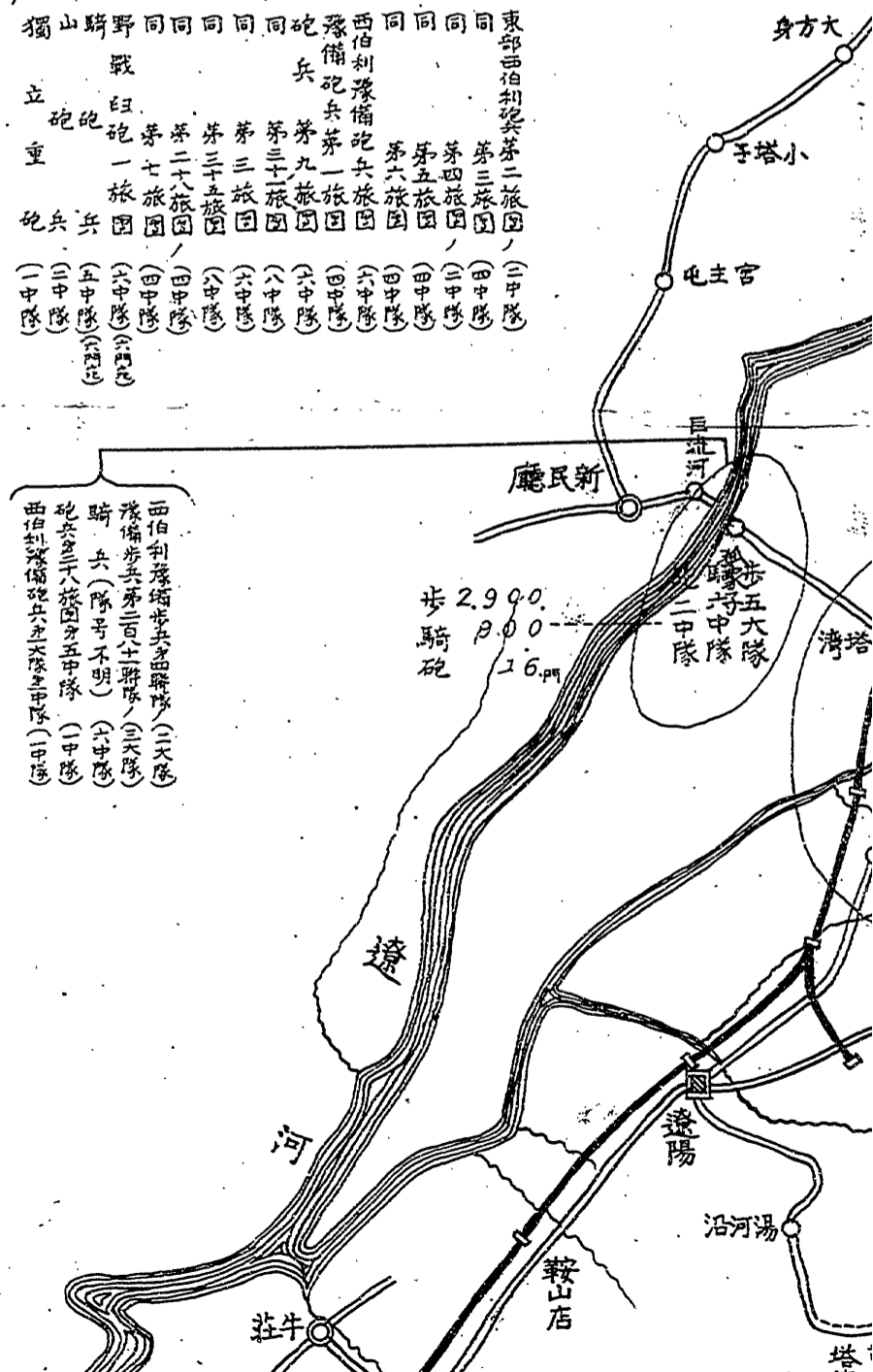
歩兵 第三十七師團 (十六大隊)
 歩兵 第九聯隊 (六中隊)
 西伯利亞砲兵旅團 (二大隊)
 砲兵 第七旅團 (二中隊)
 砲兵 第四十三旅團 (六中隊)
 砲兵 第六旅團 (二中隊)
 砲兵 第八旅團 (二中隊)
 砲兵 第十旅團 (二中隊)
 砲兵 第十二旅團 (二中隊)
 砲兵 第十四旅團 (二中隊)
 砲兵 第十六旅團 (二中隊)
 砲兵 第十八旅團 (二中隊)
 砲兵 第二十旅團 (二中隊)
 砲兵 第二十二旅團 (二中隊)
 砲兵 第二十四旅團 (二中隊)
 砲兵 第二十六旅團 (二中隊)
 砲兵 第二十八旅團 (二中隊)
 砲兵 第三十旅團 (二中隊)
 砲兵 第三十二旅團 (二中隊)
 砲兵 第三十四旅團 (二中隊)
 砲兵 第三十六旅團 (二中隊)
 砲兵 第三十八旅團 (二中隊)
 砲兵 第四十旅團 (二中隊)
 砲兵 第四十二旅團 (二中隊)
 砲兵 第四十四旅團 (二中隊)
 砲兵 第四十六旅團 (二中隊)
 砲兵 第四十八旅團 (二中隊)
 砲兵 第五十旅團 (二中隊)
 砲兵 第五十二旅團 (二中隊)
 砲兵 第五十四旅團 (二中隊)
 砲兵 第五十六旅團 (二中隊)
 砲兵 第五十八旅團 (二中隊)
 砲兵 第六十旅團 (二中隊)
 砲兵 第六十二旅團 (二中隊)
 砲兵 第六十四旅團 (二中隊)
 砲兵 第六十六旅團 (二中隊)
 砲兵 第六十八旅團 (二中隊)
 砲兵 第七十旅團 (二中隊)
 砲兵 第七十二旅團 (二中隊)
 砲兵 第七十四旅團 (二中隊)
 砲兵 第七十六旅團 (二中隊)
 砲兵 第七十八旅團 (二中隊)
 砲兵 第八十旅團 (二中隊)
 砲兵 第八十二旅團 (二中隊)
 砲兵 第八十四旅團 (二中隊)
 砲兵 第八十六旅團 (二中隊)
 砲兵 第八十八旅團 (二中隊)
 砲兵 第九十旅團 (二中隊)
 砲兵 第九十二旅團 (二中隊)
 砲兵 第九十四旅團 (二中隊)
 砲兵 第九十六旅團 (二中隊)
 砲兵 第九十八旅團 (二中隊)
 砲兵 第一百旅團 (二中隊)

歩兵 第三師團 (十六大隊)
 歩兵 第五師團 (十六大隊)
 歩兵 第六師團 (十六大隊)
 歩兵 第七師團 (十六大隊)
 歩兵 第八師團 (十六大隊)
 歩兵 第九師團 (十六大隊)
 歩兵 第十師團 (十六大隊)
 歩兵 第十一師團 (十六大隊)
 歩兵 第十二師團 (十六大隊)
 歩兵 第十三師團 (十六大隊)
 歩兵 第十四師團 (十六大隊)
 歩兵 第十五師團 (十六大隊)
 歩兵 第十六師團 (十六大隊)
 歩兵 第十七師團 (十六大隊)
 歩兵 第十八師團 (十六大隊)
 歩兵 第十九師團 (十六大隊)
 歩兵 第二十師團 (十六大隊)
 歩兵 第二十一師團 (十六大隊)
 歩兵 第二十二師團 (十六大隊)
 歩兵 第二十三師團 (十六大隊)
 歩兵 第二十四師團 (十六大隊)
 歩兵 第二十五師團 (十六大隊)
 歩兵 第二十六師團 (十六大隊)
 歩兵 第二十七師團 (十六大隊)
 歩兵 第二十八師團 (十六大隊)
 歩兵 第二十九師團 (十六大隊)
 歩兵 第三十師團 (十六大隊)
 歩兵 第三十一師團 (十六大隊)
 歩兵 第三十二師團 (十六大隊)
 歩兵 第三十三師團 (十六大隊)
 歩兵 第三十四師團 (十六大隊)
 歩兵 第三十五師團 (十六大隊)
 歩兵 第三十六師團 (十六大隊)
 歩兵 第三十七師團 (十六大隊)
 歩兵 第三十八師團 (十六大隊)
 歩兵 第三十九師團 (十六大隊)
 歩兵 第四十師團 (十六大隊)
 歩兵 第四十一師團 (十六大隊)
 歩兵 第四十二師團 (十六大隊)
 歩兵 第四十三師團 (十六大隊)
 歩兵 第四十四師團 (十六大隊)
 歩兵 第四十五師團 (十六大隊)
 歩兵 第四十六師團 (十六大隊)
 歩兵 第四十七師團 (十六大隊)
 歩兵 第四十八師團 (十六大隊)
 歩兵 第四十九師團 (十六大隊)
 歩兵 第五十師團 (十六大隊)
 歩兵 第五十一師團 (十六大隊)
 歩兵 第五十二師團 (十六大隊)
 歩兵 第五十三師團 (十六大隊)
 歩兵 第五十四師團 (十六大隊)
 歩兵 第五十五師團 (十六大隊)
 歩兵 第五十六師團 (十六大隊)
 歩兵 第五十七師團 (十六大隊)
 歩兵 第五十八師團 (十六大隊)
 歩兵 第五十九師團 (十六大隊)
 歩兵 第六十師團 (十六大隊)
 歩兵 第六十一師團 (十六大隊)
 歩兵 第六十二師團 (十六大隊)
 歩兵 第六十三師團 (十六大隊)
 歩兵 第六十四師團 (十六大隊)
 歩兵 第六十五師團 (十六大隊)
 歩兵 第六十六師團 (十六大隊)
 歩兵 第六十七師團 (十六大隊)
 歩兵 第六十八師團 (十六大隊)
 歩兵 第六十九師團 (十六大隊)
 歩兵 第七十師團 (十六大隊)
 歩兵 第七十一師團 (十六大隊)
 歩兵 第七十二師團 (十六大隊)
 歩兵 第七十三師團 (十六大隊)
 歩兵 第七十四師團 (十六大隊)
 歩兵 第七十五師團 (十六大隊)
 歩兵 第七十六師團 (十六大隊)
 歩兵 第七十七師團 (十六大隊)
 歩兵 第七十八師團 (十六大隊)
 歩兵 第七十九師團 (十六大隊)
 歩兵 第八十師團 (十六大隊)
 歩兵 第八十一師團 (十六大隊)
 歩兵 第八十二師團 (十六大隊)
 歩兵 第八十三師團 (十六大隊)
 歩兵 第八十四師團 (十六大隊)
 歩兵 第八十五師團 (十六大隊)
 歩兵 第八十六師團 (十六大隊)
 歩兵 第八十七師團 (十六大隊)
 歩兵 第八十八師團 (十六大隊)
 歩兵 第八十九師團 (十六大隊)
 歩兵 第九十師團 (十六大隊)
 歩兵 第九十一師團 (十六大隊)
 歩兵 第九十二師團 (十六大隊)
 歩兵 第九十三師團 (十六大隊)
 歩兵 第九十四師團 (十六大隊)
 歩兵 第九十五師團 (十六大隊)
 歩兵 第九十六師團 (十六大隊)
 歩兵 第九十七師團 (十六大隊)
 歩兵 第九十八師團 (十六大隊)
 歩兵 第九十九師團 (十六大隊)
 歩兵 第一百師團 (十六大隊)

計 總

(除テ西方利蘇島及俄艦)

砲兵	騎兵	歩兵
百〇二中隊	百七十三中隊	二百三十九大隊
七百九十六門	二萬五千九百五十四騎	七萬八千二百人

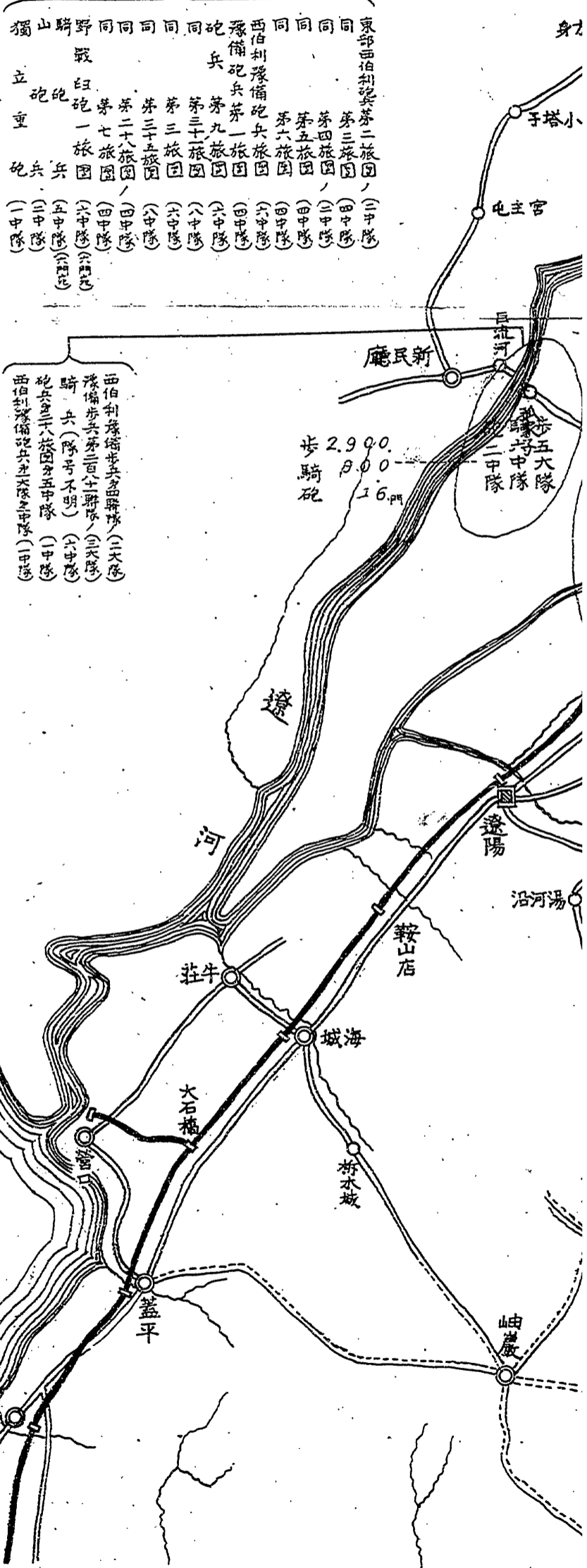


三師團、第十一聯隊、第二大隊、所在不明ナルヲ以テ本圖ニ記入セズ
 一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北ニ進マシキハ、
 一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北ニ進マシキハ、
 一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北ニ進マシキハ、
 一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北ニ進マシキハ、
 一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北ニ進マシキハ、

一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北ニ進マシキハ、
 一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北ニ進マシキハ、
 一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北ニ進マシキハ、
 一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北ニ進マシキハ、
 一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北ニ進マシキハ、

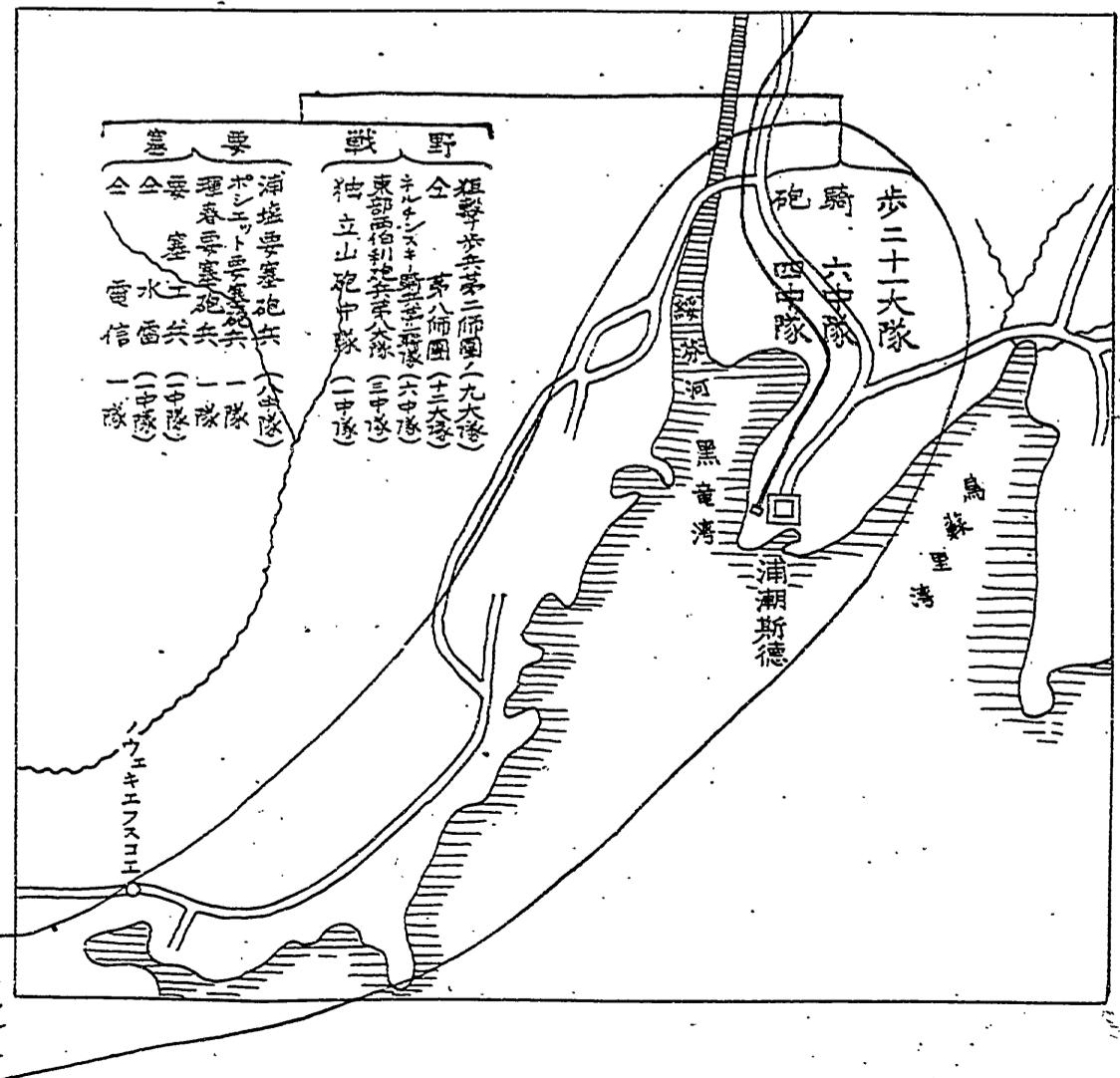
一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北ニ進マシキハ、
 一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北ニ進マシキハ、
 一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北ニ進マシキハ、
 一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北ニ進マシキハ、
 一師團、第二大隊、八月二十五日奉天ヲ経テ北ニ進マシキハ、

- 歩**
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
- 騎**
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
- 兵**
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

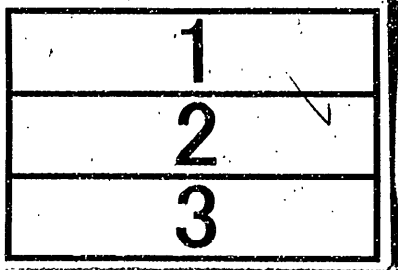


計 總		
(除ケル西ガ方利蘇馬及豫旅)		
砲兵	騎兵	歩兵
百〇二中隊	百七十三中隊	二百三十九大隊
七百九十六門	二萬五千九百五十二騎	十四萬八千二百人

- 計
 歩兵 六十四大隊
 騎兵 二十四中隊
 砲兵 四十八中隊
 工兵 一中隊



分割撮影ターゲット

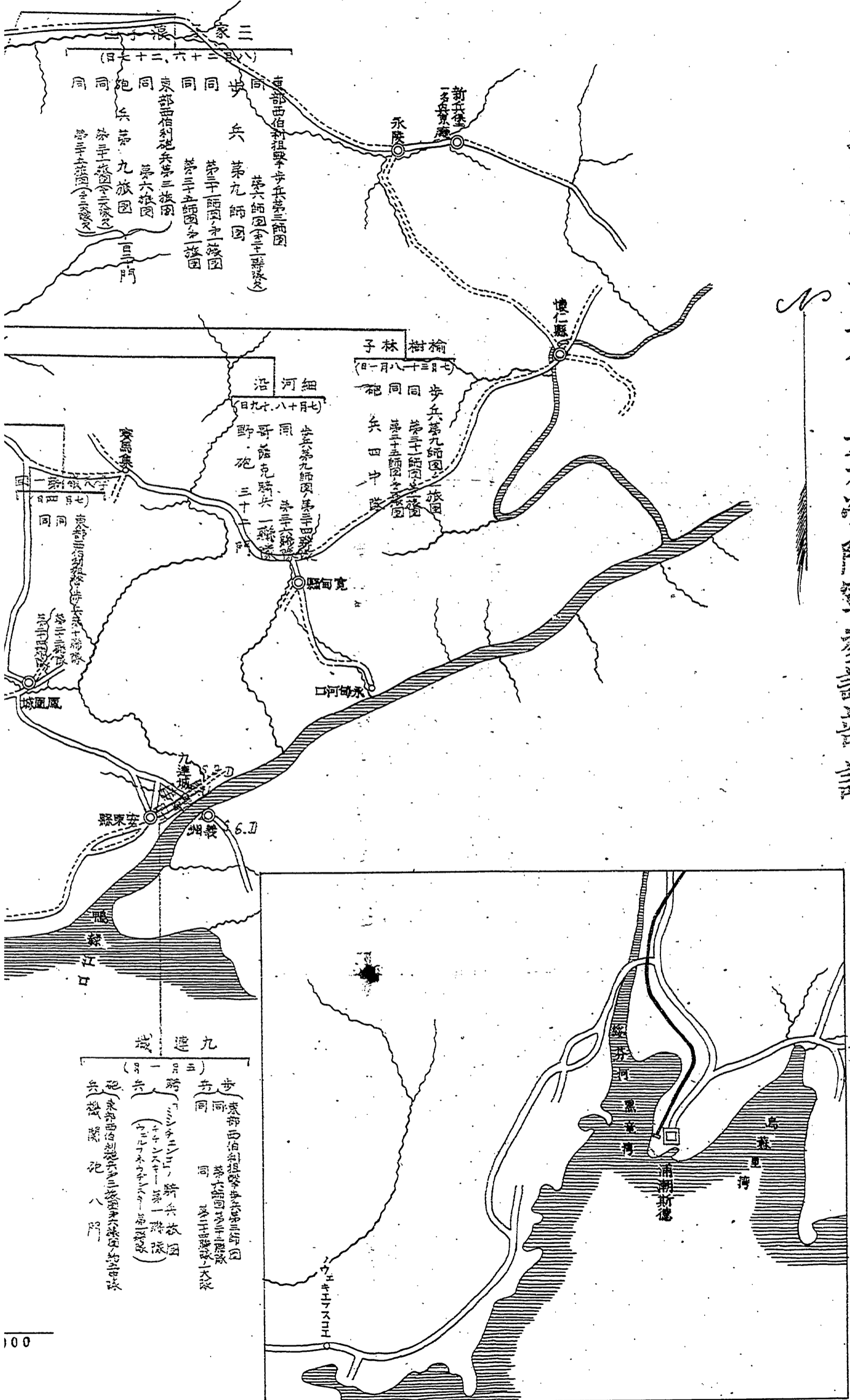
分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

秘

0182
0183
0184

露軍遼東主要戰參與部隊一覽圖

明治三十七年九月下旬 大東亞陸軍參謀部調



明治三十七年七月製版

陸地測量部

遼陽附近

(日四月九至乃日九十二月八)

砲	騎	兵	歩
步兵各師團、砲兵各師團、 十五團、加、十六團、 二十二團、米、廣、四、十、十五、米、砲、十、十五、米、砲、廣、等	西伯利亞哥薩克騎兵師團 其他騎兵共計約百三十八隊	莫斯科運送步兵第四師團、第五師團、 同、同、同、同、同、同、同、同、 同、同、同、同、同、同、同、同、	東部西伯利亞步兵第一師團、 同、同、同、同、同、同、同、同、 同、同、同、同、同、同、同、同、 同、同、同、同、同、同、同、同、

橋石大 (日四月十二月七)

砲	騎	兵	歩
砲兵各師團、 砲兵第三十五旅團、 砲兵第六、第七、 砲兵第六、第七、 砲兵第六、第七、 砲兵第六、第七、	西伯利亞哥薩克騎兵師團 其他騎兵共計約百三十八隊	莫斯科運送步兵第四師團、第五師團、 同、同、同、同、同、同、同、同、 同、同、同、同、同、同、同、同、	東部西伯利亞步兵第一師團、 同、同、同、同、同、同、同、同、 同、同、同、同、同、同、同、同、

寺利得 (日六月十六)

砲	騎	兵	歩
砲兵各師團、 砲兵第三十五旅團、 砲兵第六、第七、 砲兵第六、第七、 砲兵第六、第七、 砲兵第六、第七、	西伯利亞哥薩克騎兵師團 其他騎兵共計約百三十八隊	莫斯科運送步兵第四師團、第五師團、 同、同、同、同、同、同、同、同、 同、同、同、同、同、同、同、同、	東部西伯利亞步兵第一師團、 同、同、同、同、同、同、同、同、 同、同、同、同、同、同、同、同、

子安 (日八月十六月七)

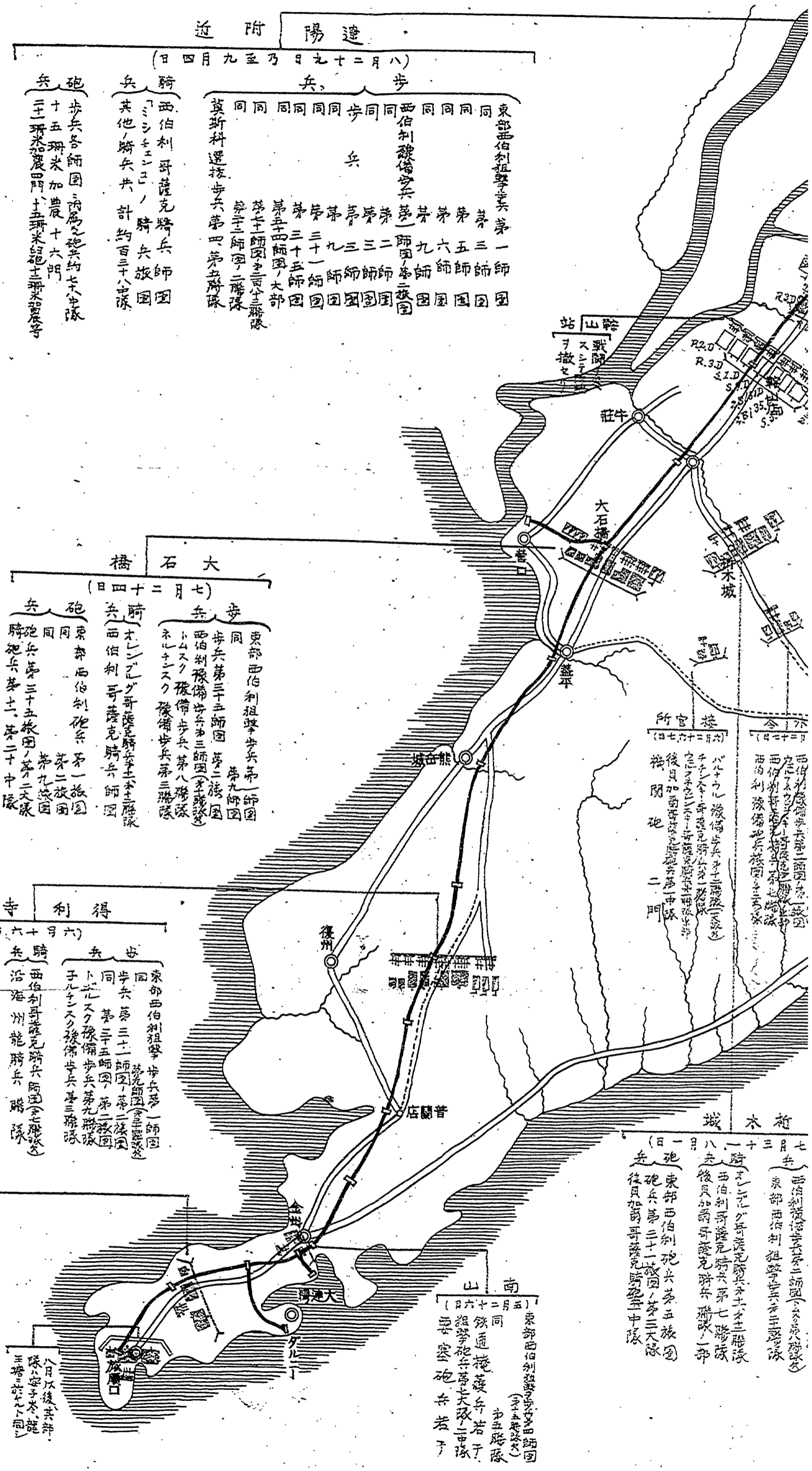
砲	騎	兵	歩
砲兵各師團、 砲兵第三十五旅團、 砲兵第六、第七、 砲兵第六、第七、 砲兵第六、第七、 砲兵第六、第七、	西伯利亞哥薩克騎兵師團 其他騎兵共計約百三十八隊	莫斯科運送步兵第四師團、第五師團、 同、同、同、同、同、同、同、同、 同、同、同、同、同、同、同、同、	東部西伯利亞步兵第一師團、 同、同、同、同、同、同、同、同、 同、同、同、同、同、同、同、同、

水新 (日一月八)

砲	騎	兵	歩
砲兵各師團、 砲兵第三十五旅團、 砲兵第六、第七、 砲兵第六、第七、 砲兵第六、第七、 砲兵第六、第七、	西伯利亞哥薩克騎兵師團 其他騎兵共計約百三十八隊	莫斯科運送步兵第四師團、第五師團、 同、同、同、同、同、同、同、同、 同、同、同、同、同、同、同、同、	東部西伯利亞步兵第一師團、 同、同、同、同、同、同、同、同、 同、同、同、同、同、同、同、同、

南 (日六月十二月五)

砲	騎	兵	歩
砲兵各師團、 砲兵第三十五旅團、 砲兵第六、第七、 砲兵第六、第七、 砲兵第六、第七、 砲兵第六、第七、	西伯利亞哥薩克騎兵師團 其他騎兵共計約百三十八隊	莫斯科運送步兵第四師團、第五師團、 同、同、同、同、同、同、同、同、 同、同、同、同、同、同、同、同、	東部西伯利亞步兵第一師團、 同、同、同、同、同、同、同、同、 同、同、同、同、同、同、同、同、



備考

一、本圖ハ諸種ノ情報ヲ参照シ主トシテ我軍ノ戰鬥詳報或ハ戰鬥報告ニ基ツキ調製セシモノナリ
 二、騎兵及砲兵ノ部隊番号不明ナルモノ多シ其他全般ニ未タ正鴻ヲ得サル所ハ今後資料ヲ得ルニ從ヒ増補訂正スヘシ
 三、豫ノ堅固陣地ヲ台領セルモノハ掩堡ノ形狀ヲ附シ其他ノ戰鬥ト區別ス
 四、一陣地ニ排列セル部隊ノ順序ハ不明ナルモノ多シ其稍判明スルモノハ符號ヲ以テ之ヲ記ス
 五、豫備步兵第一師團、R.D.ハ西伯利亞哥薩克騎兵師團ヲ示ス
 六、鞍山站ニ戰鬥ナキモ他トノ關係上之ヲ掲クルトセリ
 例令ハ、SIDハ狙撃步兵第一師團